KENWOOD

コンパクトハイファイコンポーネントシステム

SZ-3MD

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
Kenwood Corporation

© B60-5771-08/02 (JW)　　LVT1904-001C

もくじ

はじめに

準備

基本操作

ラジオを聞く

CD/MDを聞く

テープを聞く

ケンウッドデジタルオーディオプレーヤーの音声を聞く

録音する

MDを編集する

ページ

便利な機能

ページ

知っておいてほしいこと

ページ

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。記載している表示・図記号についての内容を良く理解してから本文をお読みになり、必ずお守りください。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

△ 記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
● お客様または第三者がディスクなどへ記録された内容の損害
● 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、本文での説明と重複する内容もあります）

⚠警告

異常のときは

異常が起きた場合は電源プラグを抜く

内部に水や異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いや音がしたりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。そのまま使用すると、火災･感電の原因となります。煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください

電源コード・プラグについて

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定したりしない。
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしたりしない。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災･感電の原因となります。
電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）販売店または当社サービス窓口に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災･感電の原因となります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着したりして、火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると、感電の原因となります。
電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントの場合には、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

設置について

交流 100 ボルトの電圧で接続する

この機器は、交流 100 ボルト専用です。指定の電源電圧以外で使用すると、火災･感電の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。火災･感電の原因となります。

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かない

水がこぼれて中に入ると、火災･感電の原因となります。

機器の上にろうそくやランプなど火のついたものを置かない

本機のカバーやパネルにはプラスチックが使われており、燃え移ると火災の原因となります。

使用について

水をかけたりぬらしたりしない

火災･感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

雷が鳴り始めたらアンテナ線や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

お手入れ

電源プラグを定期的に清掃する

電源プラグにほこりなどが付着していると、湿気等により絶縁が悪くなり、火災･感電の原因となります。
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。

⚠注意

異常のときは

落下した機器は電源プラグを抜く

機器を落としたり、カバーやケースが壊れたりした場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災･感電の原因となることがあります。

電源コード・プラグについて

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない

電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近づけない。
コードの被覆が溶けて、火災･感電の原因となることがあります

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災･感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

設置について

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

油煙や湿気の当たる調理台や加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。火災･感電の原因となることがあります。

設置について

温度の高い場所に置かない

窓を閉め切った自動車の中や直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

機器に乗らない

機器に乗ったり、ぶら下がったりしない。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

移動させるときは電源プラグを抜く

移動させるときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、スピーカーコード、その他接続コード類を全てを外す。コードが傷つき、火災･感電の原因となることがあります。

機器の接続は取扱説明書に従う

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り､説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。あやまった接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

⚠注意

使用について

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

旅行などで長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。火災の原因となることがあります。

機器の内部に異物を入れない

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。火災･感電の原因となることがあります。

機器のケースを開けたり改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、火災･感電の原因となることがあります。点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

ディスク挿入口に手を入れない

手がはさまれて、けがの原因となることがあります。特にお子さまにはご注意ください。

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない。ディスクは機器内で高速に回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

電池について

電池の取り扱いに注意する

次のことを、必ず守ってください。

･極性表示（プラス”＋”とマイナス”－”の向き）に注意し、表示どおりに入れる。
･指定の電池を使用する。
･使い切ったときや、長期間使用しないときは、取り出しておく。
･新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
･違う種類の電池を混ぜて使用しない。
･充電池と乾電池を混ぜて使用しない。
･電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れたりしない。

電池は誤った使い方をすると、破裂、液もりにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、けがややけどの原因となることがあります。
液がもれた場合は、点検、修理をご依頼ください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

電池は乳幼児の手の届かないところに置く

電池をあやまって飲み込むおそれがあります。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

音量について

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力傷害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聴かない

聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

お手入れ

お手入れの際は電源プラグを抜く

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く。感電の原因となることがあります。

定期的に内部の点検、清掃をする

３年に１度程度を目安に、機器内部の点検､清掃をお勧めします。販売店、または最寄のケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

本機を設置するときは、下記のように設置してください

設置方法

- 設置する場所は平らで安定した場所に置いてください。台などの上に置く場合は、必ず強度を確認してから置いてください。
- スピーカーの磁気により、テレビやパソコンの画面に色ムラが発生することがあります。テレビやパソコンから少し離して置いてください。

⚠ 注意

機器を設置するときは、下記のことをお守りください。放熱が十分でないと、内部に熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。

- 機器の上面に、放熱の妨げになるものを置かないでください。
- 機器の各面から、下記に示すスペースを空けてください。
  上面：50cm以上　背面：10cm以上　側面：10cm以上
  機器は電源コンセントに容易に手が届く位置に設定し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切っただけでは機器は電源から完全に遮断されません。

付属品

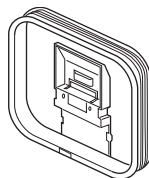
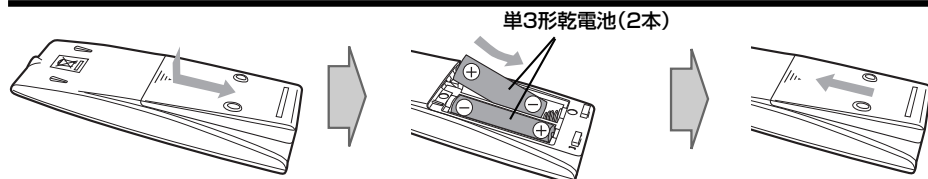
リモコン
（RC-F0322：1個）

単3形乾電池（2本）
（リモコン動作確認用）
（発泡固定材に収納されています）

FM簡易型アンテナ
（1本）

AMループアンテナ
（1個）

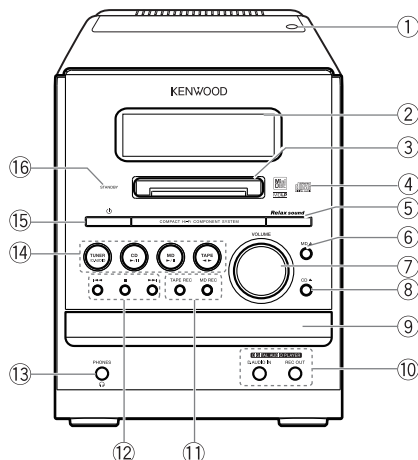
リモコンに乾電池を入れる

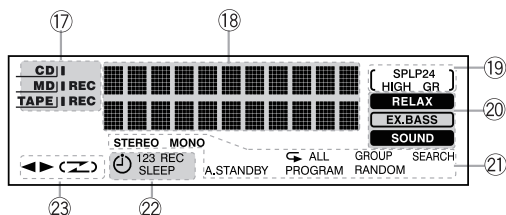
単3形乾電池（2本）

リモコン内部の極性（⊕/⊖）表示に合わせて正しく入れてください。

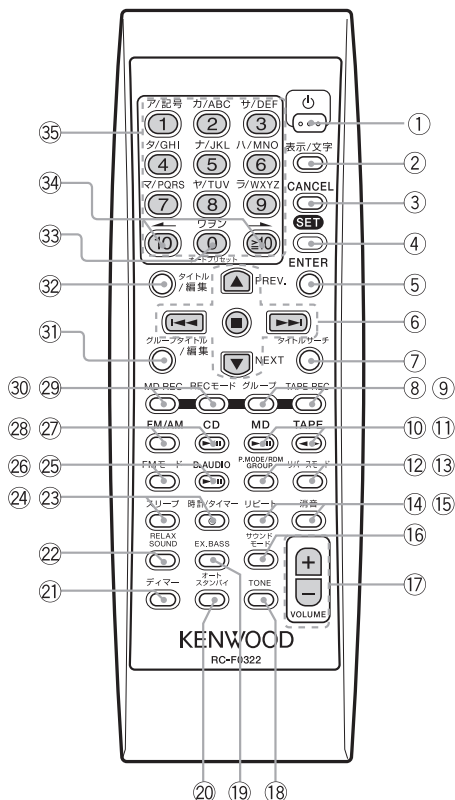
ご注意

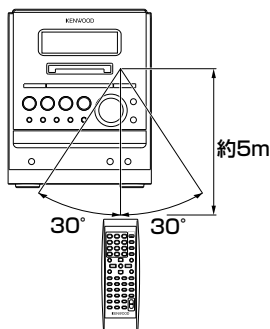
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。
- 乾電池は、「安全上のご注意（➡4ページ）」をお読みの上、正しく取り扱ってください。
- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。

各部の名称　ー(　)内の数字のページに説明がありますー

本体

① カセットホルダーとPUSH-OPEN ⏏
　(テープ取り出し) (25)
② 表示窓
③ MD挿入口 (21)
④ リモコン受光部
⑤ RELAX SOUND (16)
　DEMO(14)
⑥ MD ⏏(取り出し) (20)
⑦ VOLUMEつまみ (16)
⑧ CD ⏏(取り出し) (20、48)
　チャイルドロック (48)
⑨ CDトレイ (20)
⑩ D.AUDIO IN/REC OUT端子 (14)
⑪ 録音ボタン
　・MD REC (28)
　・TAPE REC (32)
⑫ ⏮ 、⏭
　・ラジオ (18)
　・CD (20)
　・MD (20)
　・テープ (25)
　・D.AUDIO (26)
　■ (停止)
　・CD (20)
　・MD (20)
　・テープ (25)
　・D.AUDIO (26)
⑬ PHONES(ヘッドホン)端子
　ミニプラグ付ヘッドホン(別売り)をつなぎます。プラグを接続するとスピーカーから音は出なくなります。
⑭ 操作ボタン
　・TUNER/D.AUDIO (18、26)
　・CD ▷/❚❚ (20)
　・MD ▷/❚❚ (20)
　・TAPE ◁ ▷ (25)
⑮ ⏻(電源) (15)
⑯ STANDBYランプ
　電源「切」のとき赤色に点灯します。

表示窓

⑰ ソース(音源)状態表示(20、21、25)
⑱ 情報表示部
⑲ MDの録音情報表示
　・録音モード表示(**SP**、**LP2**、**LP4**)(29)
　・録音スピード表示(**HIGH**)(29)
　・グループ録音表示(**GR**)(28)
⑳ 音質表示
　・R SOUND(16)
　・EX.BASS(16)
　・SOUND(16)
㉑ ピクト表示
　・STEREO表示(18)
　・MONO表示(18)
　・A.STANDBY表示 (47)
　・リピートモード表示
　　(⮎ ALL)(22)
　・GROUP表示(22、24)
　・RANDOM表示(23)
　・PROGRAM表示(22)
　・SEARCH表示(24)
㉒ タイマー表示(43、44)
㉓ テープ表示
　・テープ走行方向表示(◄ ►)(25)
　・リバースモード表示(⊂⇄⊃)(25)

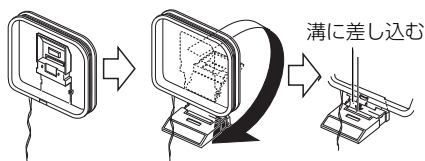
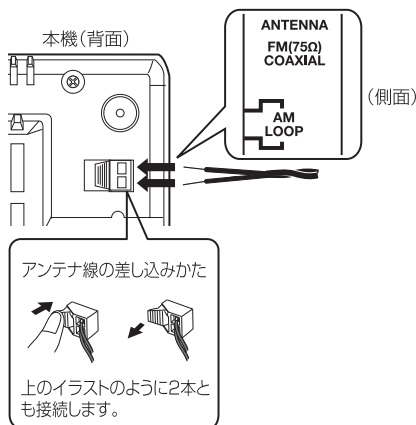
リモコン

① 電源 (15)
② 表示/文字 (19、21、26、27、31、33、34、35)
③ CANCEL (15、23、34、35、36、38、44、46)
④ SET (15、34、36〜42、44、45、46)
⑤ ENTER (19、34、35〜42)
⑥ ⏮、⏭
・ラジオ (18)
・CD (20、23)
・MD (20、23、24)
・テープ (25)
・時計、タイマー (15、44)
・D.AUDIO (26)
■（停止）
・CD (20、22、23)
・MD (20、22、23、24)
・テープ (25)
・D.AUDIO (26)
▲ 、▼ (22、24、34、39〜42)
⑦ タイトルサーチ(24)
⑧ グループ (28)
⑨ TAPE REC (32)
⑩ MD ▶/❚❚ (21)
⑪ TAPE ◀ ▶ (25、26)
⑫ P.MODE/RDM/GROUP (22、23)
⑬ リバースモード(25)
⑭ リピート(22)
⑮ 消音(16)
⑯ サウンドモード(16)
⑰ VOLUME +、– (16)
⑱ TONE(16)
⑲ EX.BASS(16)
⑳ オートスタンバイ(47)
㉑ ディマー(47)
㉒ RELAX SOUND(16)
㉓ 時計/タイマー◷(15、44)
㉔ スリープ(43)
㉕ D.AUDIO ▶/❚❚(26、27)
㉖ FMモード(18)
㉗ CD ▶/❚❚ (20)
㉘ FM/AM(18)
㉙ RECモード(29)
㉚ MD REC(28)
㉛ グループタイトル/編集 (34、36、39〜42)
㉜ タイトル/編集 (19、28、34、36〜39)
㉝ オートプリセット/0 (19)
㉞ 10、≧10
㉟ 数字ボタン

リモコンの操作

- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃をあたえないでください。

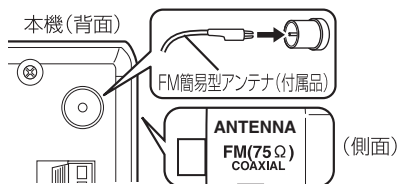
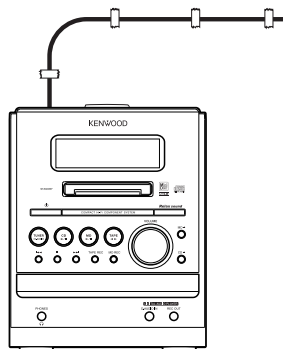
接　続 ー接続が終わるまで電源は入れないでください。ー

アンテナを接続する

AM アンテナを接続する

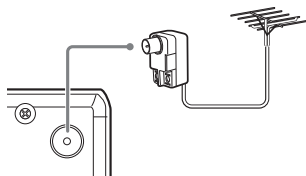
1 AMループアンテナ(付属品)を組み立てます。

2 アンテナ線を接続します。

3 接続したAMループアンテナを左右に回して最も受信状態の良い方向に向けて置きます。AMループアンテナは、本体からできるだけ離して置いてください。

- AMループアンテナは、金属製の机の上やテレビ、パソコンなどの近くに置かないでください。受信感度が悪くなります。

FMアンテナを接続する

最も受信状態の良い位置と方向にまっすぐ伸ばしてセロハンテープなどで固定します。

FM屋外アンテナ

75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、FM75Ω端子に接続します。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。

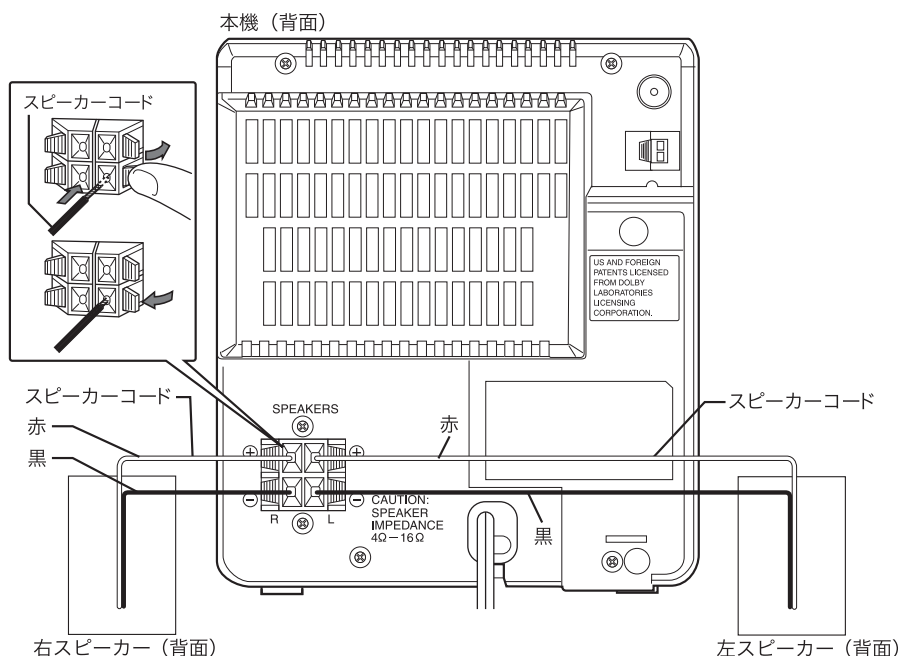
⚠ FM屋外アンテナ

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。

付属品以外のアンテナを接続する際の詳細については、アンテナおよび変換器の取扱説明書を参照してください。

アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行なってください(「ラジオを聞く」➡18ページ)。

スピーカーを接続する

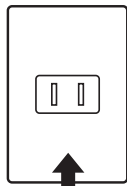
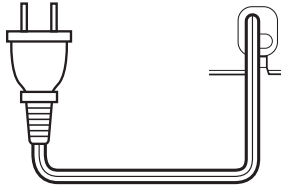
スピーカーには左右の区別はありません。

接続後、スピーカーコードを軽く引っ張って抜けないことを確認してください。

ご注意

- スピーカー端子の⊕と⊖をショートさせないでください。故障の原因となります。
- 他のスピーカーとは、一緒に接続しないでください。負荷インピーダンスが変わり、故障の原因となります。

お知らせ

- スピーカーコードの接続を間違えると、ステレオ感や音質がそこなわれます。
- 本機に接続できるスピーカーのインピーダンスは、4Ω～16Ωです。
- 本機のスピーカーは、防磁設計になっておりません。テレビの近くに設置するときは、テレビに色ムラが生じない位置まで離してください。
- サランネットは取り外すことができます。

電源プラグを接続する

- 電源プラグは、すべての接続が終わってから差し込んでください。
- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜き、安全と節電に心がけてください。
- 電源コードをコンセントから抜いた状態や停電が1分以上続くと、時計の設定は取り消されます。またタイマー予約の内容は、停電状態になると取り消されます。復旧したら合わせ直してください。

⚠ 注意

機器は電源コンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切っただけでは機器は電源から完全に遮断されません。完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。

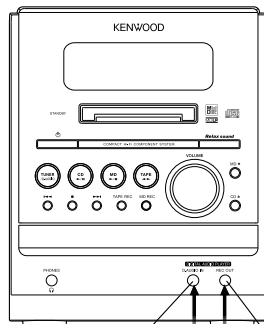
デモ表示がでないようにする

■電源「入」のとき

本体の Relax sound を「DEMO OFF」が表示されるまで押し続ける

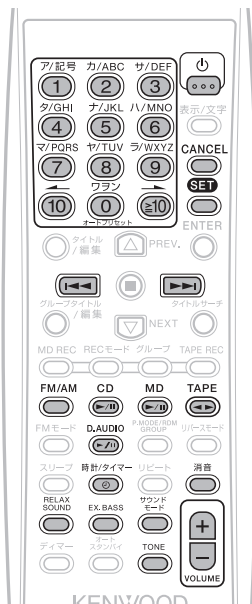
お知らせ

- デモを再表示したいときは、電源「入」のとき、本体のRelax soundを「DEMO ON」が表示されるまで押し続けます。
- デモ表示中に、本機のいずれかのボタンを押すとデモ表示が一時解除され、操作終了５秒後に再びデモ表示になります。

デジタルオーディオプレーヤーを接続する

- デジタルオーディオプレーヤーは、本機の電源「入/切」に関係なくいつでも接続することができます。
- アナログのライン入力端子が搭載されているデジタルオーディオプレーヤーを、本機のLINE OUT端子に接続すると、本機で再生している音声を録音できます。
- 別売品のデジタルプレーヤー・リンクケーブル「PNC-150」を使用してケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーを本機に接続すると、本機やリモコンでデジタルオーディオプレーヤーを操作できます。
  PNC-150で接続したデジタルオーディオプレーヤーの操作方法は、「ケンウッドデジタルオーディオプレーヤーの音声を聞く」(➡26) をご覧ください。
- デジタルオーディオプレーヤー以外でも音声出力端子やアナログ音声入力端子のある機器は接続することができます。

基本操作

本書の見かた

- 主にリモコンのボタンを使って操作説明をしています。本体に同じマークのボタンがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。
  また、本体だけのボタンで操作するときは、本体で説明します。

電源を入れる/切る

(または本体の ）を押す

- 電源が「切」の状態で、次のいずれかを押したときも電源が入ります。

リモコン： FM/AM CD MD TAPE D.AUDIO

本体：

押したボタンのソースに切り替わって電源が入ります。ディスクやテープが入っているときは、再生が始まります。

時計を合わせる

電源が「入/切」どちらの状態でも操作できます。
- リモコンのみの操作です。

1 時計/タイマー **を押す**

「時」表示が点滅

0:00 Sun.

2 **(または)で「時」を合わせてから SET を押す**
(または)で「分」を合わせてから SET を押す

- 押したままにすると連続して変わります。
- 数字ボタンも使えます。
  下の「数字ボタンの使い方」をご覧ください。

3 **(または)で「曜日」を合わせてから SET を押す**

曜日表示：
Ｓｕｎ．→日曜日、Ｍｏｎ．→月曜日、
Ｔｕｅ．→火曜日、Ｗｅｄ．→水曜日、
Ｔｈｕ．→木曜日、Ｆｒｉ．→金曜日、
Ｓａｔ．→土曜日

・合わせた「分」の0秒から時計が動きはじめます。

お知らせ
- 操作の途中で CANCEL を押すと前の手順に戻れます。

時計を合わせ直すには

時計/タイマー を4回押して時計を表示させ、手順2から操作します。

お知らせ
- 本機の時計は24時間表示です。
- 月に1分程度のズレが生じます。
- 電源コードを抜いたり停電があったときは、時計を合わせ直してください。

数字ボタンの使い方

例：3： 3(サ/DEF)
20： ≧10 → 2(カ/ABC) → 0(ワヲン)
23： ≧10 → 2(カ/ABC) → 3(サ/DEF)
100： ≧10 → ≧10 → 1(ア/記号) → 0(ワヲン) → 0(ワヲン)

音量を調節する

 を押す

お知らせ
- 本体のVOLUMEつまみを回しても調節できます。
- VOLUME 0～40の範囲で調節できます。

一時的に消音する

消音 を押す

- 「FADE MUTING」と表示され、音量が「0」になります。
- もう一度押すと元の音量に戻ります。

重低音を強調する

EX.BASS を押す

- 押すごとにON/OFFが切換わります。
- 「オン」のときは表示窓に EX.BASS が表示されます。

音質を調節する

お知らせ
- サウンドモード（➡右記参照）を「フラット」（表示窓のSOUNDが消灯した状態）にしておいてください。「フラット」以外のときは、「NO OPERATE」と表示され、調節できません。

1 TONE **を押して「BASS」または「TREBLE」を表示させる**

BASS　：低音を調節できます。

TREBLE：高音を調節できます。

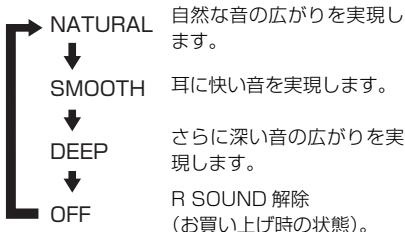
2 表示窓に「BASS」または「TREBLE」が表示されている間に、 **を押して音質を調節する**

- －5～＋5の範囲で調節できます。
- 数秒後に自動で元のソース（音源）表示に戻ります。

RELAX SOUND（リラックス サウンド）

RELAX SOUND を押す

- 押すごとに次のように切換わります。

NATURAL	自然な音の広がりを実現します。
SMOOTH	耳に快い音を実現します。
DEEP	さらに深い音の広がりを実現します。
OFF	R SOUND 解除（お買い上げ時の状態）。

- RELAX SOUNDが「OFF」以外のとき、表示窓に「RELAX」が表示されます。

お知らせ
- 録音される音には影響しません。
- サウンドモード（➡下記参照）が有効になっているときにリラックスサウンドを使うと、サウンドモードは自動で解除されます。また、リラックスサウンドが有効になっているときにサウンドモードを使うと、リラックスサウンドは自動で解除されます。

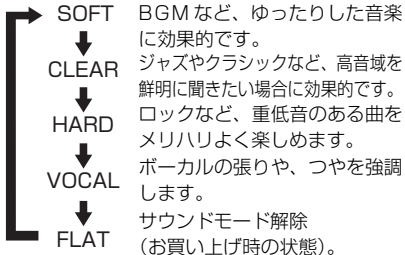
リラックスサウンドモード

中音域の音楽信号を自然に補正することにより、聴くだけで“リッラクスできる”ような、自然で広がりのある音場を再現する機能です。

サウンドモード

サウンドモード を押す

- 押すごとに次のように切換わります。

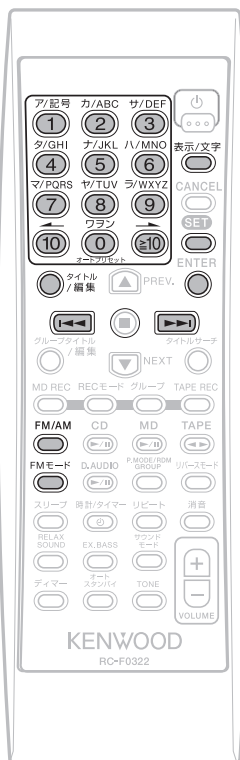
SOFT	BGMなど、ゆったりした音楽に効果的です。
CLEAR	ジャズやクラシックなど、高音域を鮮明に聞きたい場合に効果的です。
HARD	ロックなど、重低音のある曲をメリハリよく楽しめます。
VOCAL	ボーカルの張りや、つやを強調します。
FLAT	サウンドモード解除（お買い上げ時の状態）。

- サウンドモードが「FLAT」以外のとき、表示窓に SOUND が表示されます。

リモコンのボタンの位置は
15ページをご覧ください。

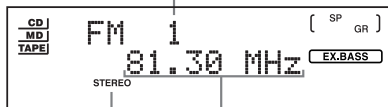
お知らせ

• 録音される音には影響しません。

ラジオを聞く

FM放送またはAM放送を受信することができます。

放送局を選ぶ

1 FM/AM を押して「FM」または「AM」を選ぶ

例：FM放送を受信中の表示

2 ⏭ または ⏮ をくり返し押して、聞きたい放送局(周波数)を選ぶ

- オート選局(下記)もできます。

オート(自動)選局：

⏭ または ⏮ を押し続け、周波数が変わり始めたらボタンを離します。
放送を受信すると自動で止まります。

途中で止めたいときは、⏭ または ⏮ を押します。

- FMステレオ放送を受信すると、「STEREO(ステレオ)」表示が点灯します。

FMモードの切換え：

FMステレオ放送が雑音で聞きにくいとき、FMモード を押し、音声をモノラルにする(「MONO」が点灯)と、聞きやすくなることがあります。

もう一度 FMモード を押すとステレオ受信に戻ります。

お知らせ

- 本機はAMステレオ放送には対応していません。

放送局を記憶させる(プリセット)

FM放送は最大30局、AM放送は最大15局まで、それぞれ記憶させることができます。

オート(自動)プリセット

FM放送とAM放送それぞれについて操作してください。

■ FM放送またはAM放送を受信中に

 を2秒以上押す

- 受信できる放送局が自動で記憶され、その局のプリセット番号と受信周波数が表示されます。
- 受信できるすべての放送局が記憶されるか、プリセットできる最大数まで記憶されると、自動で終了します。
- 前に記憶されていた放送局があっても、新しく記憶された放送局が上書きされます。

オートプリセットが終了すると、プリセット番号1に記憶された放送局が受信されます。

お知らせ

- 雑音の多い放送局も記憶されることがあります。このようなときはマニュアルプリセットで選び直してください。

マニュアル(手動)プリセット

放送局を1つずつ記憶させます。

■ プリセットしたい放送局を受信中に

1 SET **を押す**

プリセット番号が約5秒間点滅します。

2 **プリセット番号が点滅している間に、数字ボタン(1 ～10、0、≧10)を押して記憶させたい番号を選ぶ**

- 「数字ボタンの使い方」(➡15ページ) をご覧ください。

3 **選んだ番号が点滅している間に SET を押す**

「STORED(ストアード)」と表示され、選んだ放送局が記憶されます。

お知らせ

- FMモード(➡18ページ)は記憶されます。
- 同じプリセット番号に新しい放送局を記憶させると、前の放送局の記憶は消えます。

放送局を呼び出す

■ FMまたはAMを受信中に

数字ボタンで、呼び出したい放送局のプリセット番号を選ぶ

「数字ボタンの使い方」(➡15ページ) をご覧ください。

放送局名を入力する

プリセット選局で記憶した放送局に、最大8文字の局名をつけることができます。

1 **を押す**

2

表示/文字 と数字ボタン(1 ～10、0、≧10)で局名を入力する

- 入力方法は「タイトル入力のしかた」(➡35ページ)をご覧ください。

3 ENTER **を押す**

- 「STORED」と表示され、入力した局名が登録されます。

お知らせ

- 放送局名を入力したあと、あらためてオートプリセットやマニュアルプリセットを行うと、局名は削除されます。
- オート選局やマニュアル選局で聞いているときは、放送局名を入力できません。

表示窓の表示を変える

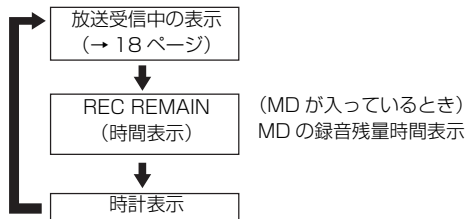
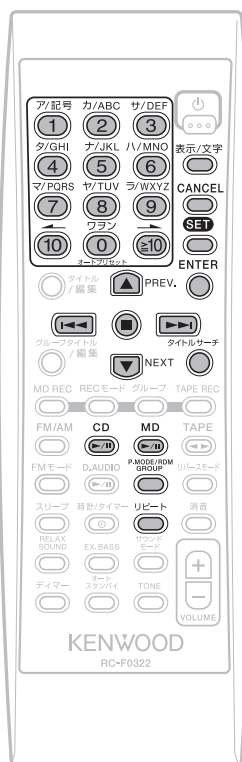
表示/文字 **を押す**

- 押すごとに、次のように切換わります。

放送受信中の表示(→ 18 ページ)
↓
REC REMAIN(時間表示) (MD が入っているとき) MD の録音残量時間表示
時計表示

ラジオを聞く

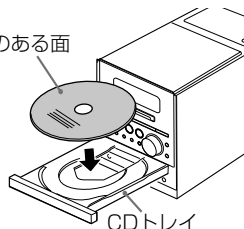
CD/MDを聞く

	操　作
停止する	■を押す。
一時停止する	再生中にCD(►/II)、MD(►/II)を押す。 もう一度押すと再生を再開します。
頭出し（スキップ）	⏮： ⏭：　くり返し押す。
早送り・巻き戻しする	⏮： ⏭：　再生中に押し続ける。
ディスクを取り出す	本体のCD▲、MD▲を押す。

CDを聞く

■ 電源「入」のとき

1　本体の CD▲ を押す

• CDトレイが出ます。

2　CDをCDトレイに置く

• 8センチCDは内側の凹部に置きます。

3　CD(►/II) を押す

■ 再生中の表示

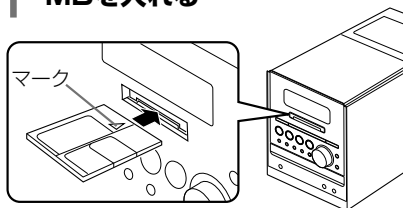
CD表示
（停止中は点灯。再生中、
一時停止中は点滅）　曲番号　再生経過時間

■ 停止中の表示

総曲数　総再生時間

MDを聞く

■ 電源「入」のとき

1 MDを入れる

ご注意

- 電源「切」のときはMDを入れないでください。無理に押し込むと故障の原因となります。

2 MD（►/II）を押す

■ 再生中の表示

MD表示
（停止中は点灯。再生中、一時停止中は点滅）
曲番号
グループ番号 *

CD MD TAPE　MD　1　G　1　GR
LP2　0:03　EX.BASS

録音モード
（→ 28 ページ）
再生経過時間

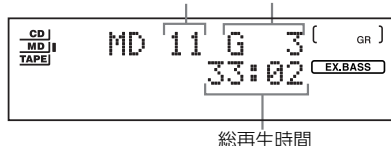
- 曲タイトルがある場合は、最初に表示されます。

* グループ分けされていないときは「G－－」と表示されます。

- MD表示が点灯または点滅しているとき、新たにMDは入りません。無理に押し込むと故障の原因となります。

■ 停止中の表示

総曲数　総グループ数 *

総再生時間

- ディスクタイトルがある場合は、最初に表示されます。
- 長いタイトルはスクロールされます。

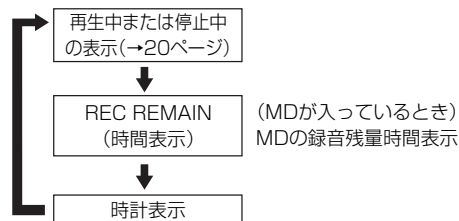
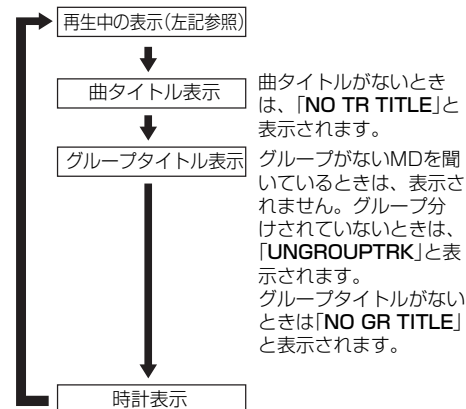
* グループ分けされていないときは「G－－」と表示されます。

表示窓の表示を変える

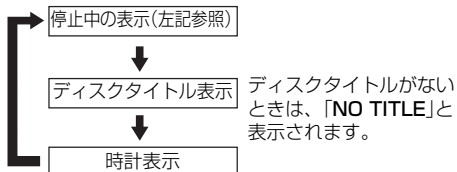
表示/文字 を押す

- 押すごとに、次のように切換わります。

CD再生中（または停止中）のとき

（MDが入っているとき）
MDの録音残量時間表示

MD再生中のとき

曲タイトルがないときは、「NO TR TITLE」と表示されます。

グループがないMDを聞いているときは、表示されません。グループ分けされていないときは、「UNGROUPTRK」と表示されます。
グループタイトルがないときは「NO GR TITLE」と表示されます。

MD停止中のとき

ディスクタイトルがないときは、「NO TITLE」と表示されます。

聞きたい曲を指定する（ダイレクト選曲）

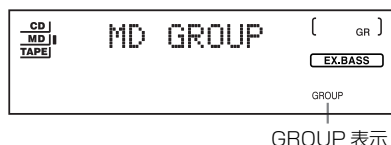
聞きたい曲を数字ボタン（ア/記号 1 〜 10、ワヲン 0、≧10）で選ぶ

- 「数字ボタンの使い方」（➡15ページ）をご覧ください。

MD のグループ再生

お好みのグループだけを再生できます。

■ MDが停止中に

1 P.MODE/RDM GROUP をくり返し押して「MD GROUP」を選ぶ

GROUP 表示

2 MD ►/❚❚ を押す

- グループ1の再生が始まります。
- グループが1つもないときは、「GROUP」表示が消え、通常の再生になります。

3 ▼NEXT または ▲PREV. を押して、聞きたいグループを選ぶ

- 選んだグループの曲がすべて再生されると自動的に停止します。

解除するには

停止中に P.MODE/RDM GROUP をくり返し押して、「GROUP」以外を選ぶ

お知らせ

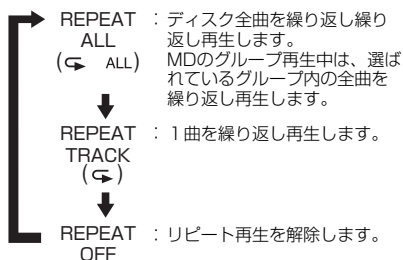
- MDを取り出したり、電源を「切」にしても、グループ再生は解除されます。

リピート再生

聞きたい曲をくり返し再生することができます。

再生中に リピート をくり返し押してリピートモードを選ぶ

- 押すごとに、次のように切換わります。

例： REPEAT ALLのとき

リピート表示

お知らせ

- CDやMDを取り出したり、電源を「切」にする、またはMDの編集操作をすると、リピート再生は解除されます。

プログラム再生

最大32曲までプログラムして聞くことができます。

1 CDのとき： CD ►/❚❚ ➡ ■ を押す
MDのとき： MD ►/❚❚ ➡ ■ を押す

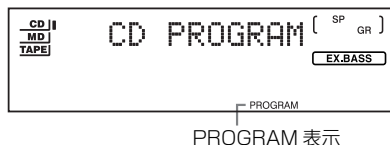
2 P.MODE/RDM GROUP を押して「PROGRAM（プログラム）」を選ぶ

例：CDのプログラム再生のとき

PROGRAM 表示

3 数字ボタン（1 ～10、0、≧10）で曲番号を選ぶ

- 「数字ボタンの使い方」（➡15ページ）をご覧ください。

曲番号　プログラム番号

プログラムの総再生時間

お知らせ

- プログラムを削除したいときは停止中に CANCEL を押します。プログラムの最後の曲から順番に削除されます。CANCEL を長押しするとプログラムした内容がすべて削除されます。
- 33曲目をプログラムしようとすると「MEMORY FULL」と表示され、それ以上はプログラムできません。
- プログラムの総再生時間が、CDは1時間40分以上、MDは2時間31分以上になると、「--:--」と表示されます。

4 CDのとき：CD を押す MDのとき：MD を押す

お知らせ

- CDとMDの曲を組み合わせたプログラム再生はできません。

プログラムした内容を確認する

停止中に ⏮ または ⏭ をくり返し押します。

- ここでプログラムを（最後の曲として）追加したり、（最後の曲を）削除することもできます。（➡手順3）

プログラム再生を解除するには

停止中に P.MODE/RDM GROUP をくり返し押して「PROGRAM」以外を表示させせます。

- プログラムした内容は削除されません。

プログラムした内容をすべて削除するには

停止中に CANCEL を押し続けます。

お知らせ

- CDやMDを取り出したり、電源を「切」にしてもプログラムした内容は削除されます。また、プログラム再生も解除されます。

ランダム再生

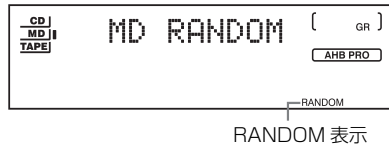
ランダム（無作為）な順序で曲を再生することができます。

1 CDのとき：CD ➡ ■ を押す MDのとき：MD ➡ ■ を押す

2 P.MODE/RDM GROUP をくり返し押して「RANDOM（ランダム）」を選ぶ

例：MDのランダム再生のとき

RANDOM 表示

3 CDのとき：CD を押す MDのとき：MD を押す

お知らせ

- CDとMDの曲を組み合わせたランダム再生はできません。
- MDのときのみ、⏮ を押すと再生中の曲の頭に戻ります。ただし、くり返し押しても前の曲には戻れません。
- 一度再生した曲は、再び選曲されません。

ランダム再生を解除するには

停止中に P.MODE/RDM GROUP をくり返し押して「RANDOM」以外を表示させせます。

お知らせ

- CDやMDを取り出したり、電源を「切」にしても、ランダム再生は解除されます。

リモコンのボタンの位置は20ページをご覧ください。

タイトルサーチ

MDの曲やグループのタイトルを検索（サーチ）し、再生できます。

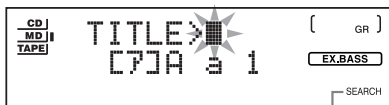
1 ➡ ■ **を押す**

2 タイトルサーチ **をくり返し押して、検索の種類を選ぶ**

TRACK T.SEARCH（T：Title（タイトル）の略です）　曲のタイトルで検索します。

↕

GROUP T.SEARCH　グループのタイトルで検索します。（グループ分けされているときのみ有効）

3 SET **を押す**

例：曲タイトルサーチのとき

グループタイトルサーチのときはGROUP SEARCH と表示されます。

4 検索したいタイトルを入力する

- 最初の1～5文字まで入力します。
  例：「F」と入力したときは、「F」で始まるタイトルを曲番号順にサーチします。
  「Frien」と入力したときは、「Frien」で始まるタイトルを曲番号順に検索します。
- 文字の入力方法は「タイトル入力のしかた」（➡35ページ）をご覧ください。
- タイトルが記録されていない曲やグループ（NO TITLE）を検索したいときは、何も入力しないで手順5に進みます。

5 ENTER **を押す**

- 「SEARCH」と表示され、タイトルサーチが始まります。曲が見つかると再生が始まります。再生が終わると自動で次のタイトルサーチが始まります。

お知らせ

- 空白（スペース）も文字として扱われますが、空白（スペース）の後ろに文字がないときは、無視されます。
- 英大文字と英小文字は区別されます。
- 曲が見つからないときは「NOT FOUND」と表示されます。

次の曲（またはグループ）を検索する

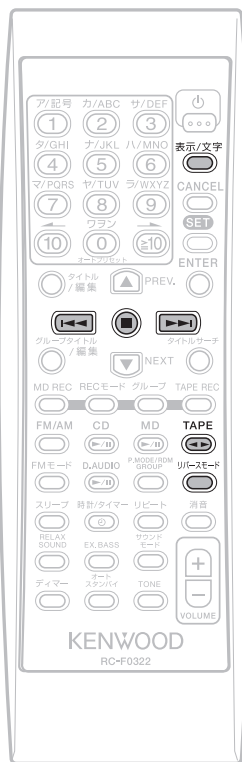
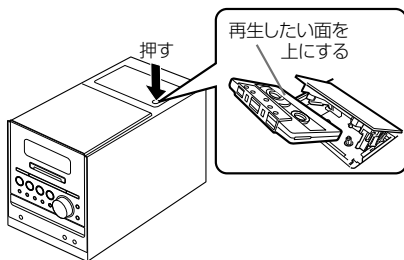
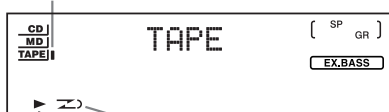
►►| **（または ▼ NEXT ）を押す**

タイトルサーチをやめる

タイトルサーチ **を押す**

- 「SEARCH END」と表示され、タイトルサーチが解除されます。再生中の曲の頭に戻って再生を続けます。

テープを聞く

	操　作
停止する	■を押す。
早送り・巻き戻しする	►►Iまたは I◄◄を押す。 • 順方向(►)の再生中は、►►Iが早送り、I◄◄が巻き戻しになります。 • 逆方向(◄)の再生中は、I◄◄が早送り、►►Iが巻き戻しになります。

1 カセットホルダーにテープを入れる

テープ表示（停止中は点灯、再生中は点滅）

テープ走行方向
（►:順方向、◄:逆方向）

リバースモード

ご注意

- ご使用の前にテープのたるみを取り除いてください(➡51ページ)。
- C-120やC-150などの長時間テープは使用しないでください。テープが薄く伸びやすいため、機械内部に巻き込まれる原因となります。
- 本機は、ノーマルテープ（TYPE I ）の再生に対応しています。ハイポジションテープ(TYPE II)やメタルテープ(TYPE IV)は、特性が異なるためお勧めできません。再生すると音質が変わります。

2 リバースモード をくり返し押してリバースモードを選ぶ

：おもて面からうら面への往復再生

：両面の連続再生
（再生を停止するまでくり返し）

：おもて面、またはうら面のみの片道再生

（次ページへ続く）

リモコンのボタンの位置は25ページをご覧ください。

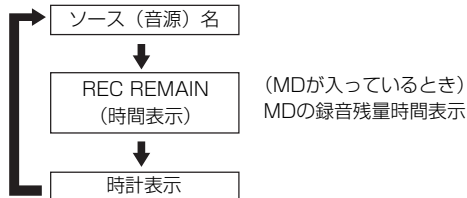
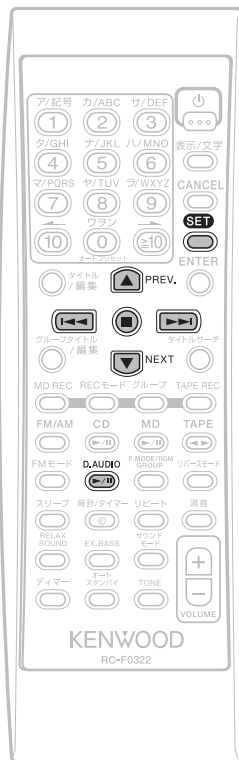
3 TAPE を押す

- 再生が始まります。
- TAPE を押すごとにテープの走行方向が変わります。テープを入れ、最初に TAPE を押したときは必ず順方向（おもて面）で再生します。
- テープのおもて面再生中は右向きのテープ走行方向表示 ▶が、テープのうら面再生中は左向きのテープ走行方向表示◀が表示されます。

表示窓の表示を変える

表示/文字 を押す

- 押すごとに、次のように切換わります。

（MDが入っているとき）
MDの録音残量時間表示

ケンウッドデジタルオー

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー（以下、「デジタルオーディオプレーヤー」といいます）を接続して再生したり、本機からデジタルオーディオプレーヤーに録音することができます。

お知らせ

- 本機へ接続している間はデジタルオーディオプレーヤーの音量、音質設定が無効になります。

ディオプレーヤーの音声を聞く

デジタルオーディオプレーヤーを接続して再生する

デジタルオーディオプレーヤーを本機に接続して再生します。
- 接続するデジタルオーディオプレーヤーの取扱説明書も併せてご覧ください。
- 別売品の専用ケーブルPNC-150を使って接続すると、本機やリモコンでデジタルオーディオプレーヤーを操作できます。

HDD オーディオプレーヤー	メモリオーディオプレーヤー
HD60GD9EC HD60GD9 HD20GA7 HD30GA9 HD30GB9 HD10GB7	MGR-A7 M2GD55/M1GD55 M2GD50/M1GD50 M1GB5/M512B5 M2GC7/M1GC7 M512C5

2008 年8月現在

1 D.AUDIO IN端子にデジタルオーディオプレーヤーをケーブルで接続する

2 デジタルオーディオプレーヤーの電源を入れる

3 D.AUDIO を押して再生する
- D.AUDIO を押すだけで本機の電源がオンになります。
- 専用ケーブルPNC-150以外で接続した場合は、接続したデジタルオーディオプレーヤー側で操作します。

■ 専用ケーブルPNC-150で接続した場合
- デジタルオーディオプレーヤーで操作できるほか、本体やリモコンからも操作できます。

早送り／早戻しをする

再生中に ⏮ ／ ⏭ を押し続ける

停止する

■ を押す

一時停止と再開

D.AUDIO を押す

前のフォルダ／次のフォルダの曲を再生する

前のフォルダへは ▼NEXT を押す
次のフォルダへは ▲PREV を押す

曲を飛ばす／曲の初めに戻る／前の曲へ戻る

曲を飛ばす： ⏭ を押す
曲の初めに戻る： ⏮ を押す
前の曲へ戻る： ⏮ を連続して２回以上押す

D.AUDIO端子の音声入力レベルを調節する

本機のD.AUDIO端子に接続したデジタルオーディオプレーヤー、または他のオーディオ機器からの音声入力レベルを、本機で調節することができます。
- ソース（音源）がD.AUDIOのとき操作します。

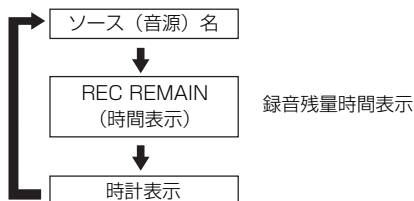
入力レベルが表示されるまで SET を長押しする
- 長押しするごとに、次のように切換わります。

HIGH ： 音声入力レベルが小さいときに設定してください。

LOW ： 音声入力レベルが大きいときに設定してください。または、デジタルオーディオプレーヤー以外のオーディオ機器に接続しているときに設定してください。

MID ： 通常はこの設定で使用してください。（お買い上げ時の設定）

表示窓の表示を変える

表示/文字 を押す
- 押すごとに、次のように切換わります。

MDに録音する

MDへの録音について（知っておいてほしいこと）

本機はステレオ音声のまま2倍または4倍の長時間録音(MDLP)に対応しています。
1枚のMDに違うモード(SP: 標準/LP2: 2倍長時間/LP4: 4倍長時間)の曲を混在させて録音することもできます。MDの録音残量は録音モードに応じて変わります。

- **SP ： 標準のステレオ録音**
  （MD80で最大80分の録音）
- **LP2： 2倍長時間録音(ステレオ)**
  （MD80で最大160分の録音）
- **LP4： 4倍長時間録音(ステレオ)**
  （MD80で最大320分の録音）
  ラジオ放送の長時間録音などに使用すると便利です。

- 録音モードが長時間(SP→LP2→LP4)になるにしたがって、音質に差がでます。最良の音質で録音したいときは、SPを選んでください。
- 本機では、通常の2倍の時間で録音できる「モノラル録音」には対応しておりません。ただし、モノラルソース（音源）をMDLPの各モードで録音することはできます。
- お手持ちのMD再生機（カーステレオやポータブルMDプレーヤー）がMDLPに対応していないときは、SPモードで録音してください。

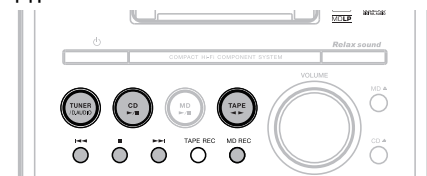
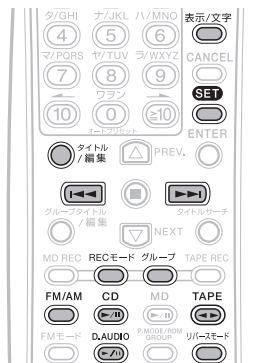
ご注意

- LP2またはLP4で録音された曲は、MDLPに対応していない機器では再生できません。曲タイトルの始めに「LP:」と表示され、無音状態になります。MDLPに対応した機器で再生すると「LP:」は表示されません。
  「LP：」をつけるかどうか設定することができます。（右の『「LP：」の設定』参照）

- MDには最大254曲(トラック)まで録音することができます。これ以上録音しようとすると「**DISC FULL**」が表示されます。
- すでに途中まで録音してあるMDのときは、本機が未録音部分を探して録音します。
  テープのように上書きで録音することはできません。
- 録音中は、本機の音量・音質を変えても録音される音声には影響ありません。
- 音楽CDの音声はデジタル信号のまま録音されます。ラジオ、D.AUDIOの音声は、アナログ信号をデジタル信号に変換してから録音されます。

ご注意

- MDの録音/編集中は、本機に振動を与えないようにしてください。特に「**WRITING**」（書き込み中）の表示中は注意してください。MDが再生できなくなるおそれがあります。

本体

リモコン

MDに録音する前の設定

「LP :」の設定

（タイトル/編集）を2秒以上長押しします。

- 長押しするごとに、次のように切換わります。

(LP:) ON ：タイトルに自動で「**LP:**」をつける（お買い上げ時の設定）。

↕

(LP:) OFF ：タイトルに「**LP:**」をつけない

グループ録音の設定

（グループ）を押します。

- 押すごとに、次のように切換わります。

GROUP REC ON ：グループとして録音します（お買い上げ時の設定）。

GROUP REC OFF ：グループとして録音しません。

- グループは、録音後にまとめたり解除することができます。（➡39～42ページ）

CDをまるごと１枚録音する

お知らせ

- 倍速録音ではCDを高速で回転させるため、CDの状態によっては正しく録音されず、雑音などが録音されることがあります。このようなときは、等速で録音してください。
- 録音残量時間は、そのときの録音に使われるMDLPモードに応じて異なります。
- リピート再生での録音はできません。録音を開始すると自動でリピート再生が解除されます。

CDの5倍速（最大）録音について

本機で、CDをMDに倍速録音するときの録音速度には、5倍速と4倍速があります。

録音速度は、CDの収録時間によって異なり、本機が自動で判別します。

CDの収録時間が30分以上：5倍速

CDの収録時間が30分未満：4倍速

CD-R/CD-RWの録音

CD-R/CD-RWの音声（CDフォーマット）をMDに録音するとき、本体 MD REC を押すと、表示窓に「SCMS CANNOT COPY」が表示され、デジタル録音ができないことがあります。
このようなときは、録音スピードが「NORMAL」（等速）のモードを選び MD REC を4秒以上長押しします。「ANALOG REC」が表示され、アナログ録音されます。

MDの録音残量時間を確認する

MD以外のソース（音源）を選び、リモコン 表示/文字 を押すと録音残量時間（REC REMAIN）が表示されます。

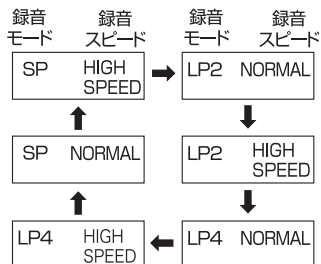
準備

LP：の設定、グループ録音の設定を確認しておきます（「MDに録音する前の設定」➡28ページ）。
- 誤消去防止つまみを閉じておきます（➡51ページ）。

1 CD を押してから ■ を押す

2 録音用のMDをMD挿入口に入れる

3 RECモード を押して録音モードを選ぶ

- 押すごとに、次のように切換わります。

- 倍速（HIGH SPEED）録音中は音声を聞くことができません。

4 本体の MD REC を押す

録音中の表示例：

- 「HCMS CANNOT COPY」が表示されたときは50、52ページをご覧ください。

録音を途中でやめるには

 を押します。

録音する

CDの中の１曲だけを録音する

29ページの手順4の前に、録音したい曲を再生する

- 手順4で本体の MD REC を押すと、曲の頭に戻り、その曲だけが録音されます。
- 倍速録音は4倍速です。

CDの途中の曲から最後の曲まで録音する

29ページの手順4の前に、▶▶| または |◀◀ で曲番号を指定する

- 倍速録音は4倍速です。

CDをプログラム録音する

29ページの手順4の前に、録音したい曲をプログラム(➡22ページ)する

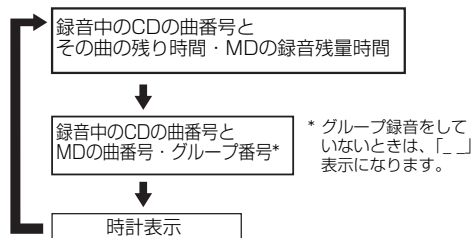
- 録音スピードが等速の録音モードを選んでください(手順3)。倍速録音(HIGH SPEED)の録音モードを選んで手順4を行なうと「x1 REC ONLY」と表示され、録音されません。

録音中に表示窓の表示内容を切換えるには

表示/文字 を押します。

- 押すごとに、表示が次のように切換わります。

録音中のCDの曲番号と
その曲の残り時間・MDの録音残量時間
↓
録音中のCDの曲番号と
MDの曲番号・グループ番号*
↓
時計表示

* グループ録音をしていないときは、「_ _」表示になります。

ラジオやテープ、他の機器の音声の録音

お知らせ

- デジタルオーディオプレーヤー（LINE）の音声を録音するときは、サウンドシンクロ録音になります。サウンドシンクロ録音では、ソース(音源)の音声信号に反応して自動的に録音が始まります。また、ソース（音源）の音声が30秒以上途切れると、自動的に録音を終了します。このとき、録音を終了したMDの空白時間は約2秒になります。

準備
- LP：の設定、グループ録音の設定を確認しておきます(「MDに録音する前の設定」➡28ページ)。
- 誤消去防止つまみを閉じておきます(➡51ページ)。

1 録音するソース(音源)を選ぶ

ソース(音源)	操　作
ラジオ放送	録音したい放送局を選ぶ(➡18ページ)。
テープ再生(TAPE)	再生するテープを入れ、TAPE を押してから ■ を押す。必要に応じて リバースモード を押してリバースモードを選ぶ(➡25ページ)。
デジタルオーディオプレーヤーの音声(LINE)	D.AUDIO を押してから ■ を押す(➡27ページ)。

2 録音用のMDをMD挿入口にいれる

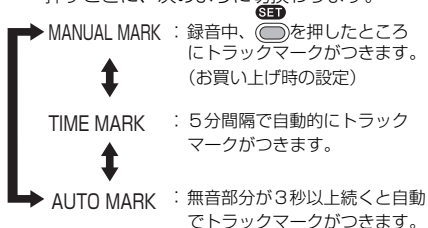
3 RECモード を押して録音モードを選ぶ

- 「SP」、「LP2」、「LP4」が選べます。

4 本体の MD REC を約４秒間長押し、トラックマーク（曲番号）のつけかたを表示させる

リモコンのボタンの位置は28
ページをご覧ください。

5 トラックマークのつけかたが表示されている間に ⏭ または ⏮ を押し、トラックマークのつけかたを選ぶ

- 押すごとに、次のように切換わります。

MANUAL MARK ：録音中、SET を押したところにトラックマークがつきます。（お買い上げ時の設定）

↕

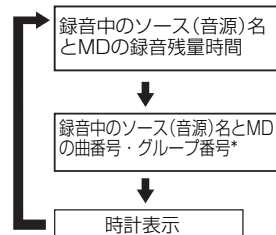
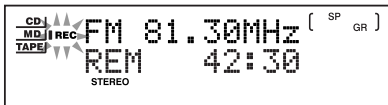
TIME MARK ：５分間隔で自動的にトラックマークがつきます。

↕

AUTO MARK ：無音部分が３秒以上続くと自動でトラックマークがつきます。

6 本体の MD REC を押す

例：FM放送を録音中の表示

CD MD TAPE REC FM 81.30MHz [SP GR]
REM 42:30
STEREO

- デジタルオーディオプレーヤー（LINE）からの録音の場合は、「D.AUDIO→MD」が表示されたあと「REC STANDBY」と表示されます。「REC STANDBY」と表示されるのを待って、デジタルオーディオプレーヤーの再生を始めてください。音声信号が入力されると、録音が自動的に始まります。また、MD ⏯ を押して録音を始めることもできます。
この場合はソース（音源）の音声が30秒以上途切れても自動的に停止しません。

録音をやめるには

■ を押します。

録音中に表示窓の表示内容を切換えるには

表示/文字 を押します。

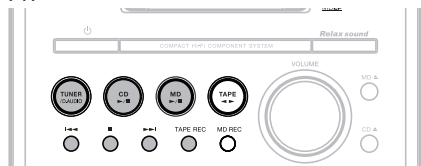
- 押すごとに、表示が次のように切換わります。

時計表示

* グループ録音をしていないときは、「_ _」表示になります。

録音する

テープに録音する

本体

リモコン

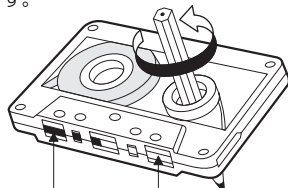
お知らせ

- 録音レベルは自動で調節されます。
- ソース（音源）がCDまたはMDのときは曲間に4秒のあき(ブランク)を作って録音されます。ブランクを作らずに録音することもできます。
（「曲間にあき（ブランク）を作らずに録音する」➡33ページ）

ご注意

- C-120やC-150などの長時間テープは使用しないでください。テープが薄く伸びやすいため、機械内部に巻き込まれる原因となります。
- 本機はハイポジション（TYPE II）やメタルテープ（TYPE IV）に対応しておりませんので、使用しないでください。特性が異なるため、正しく録音されません。また、再生しても正しい音質にはなりません。

1 録音用のテープを入れる

- ノーマルテープ(TYPE I)を使います。
- リーダーテープの部分は巻き取っておきます。

磁気テープ（録音できます）　リーダーテープ（録音できません）

2 リバースモード を押してリバースモードを選ぶ

- 押すごとに、次のように切換わります。

：片面のみ録音するとき

：おもて面からうら面へ往復録音するとき

：手順4で本体のTAPE RECを押すと、自動的に に切換わります。

3 録音するソース(音源)を選ぶ

- CDやMDは停止状態にしておきます。

ソース（音源）	操　作
CD	CD を押してから ■ を押す。
MD	MD を押してから ■ を押す。
ラジオ放送	録音したい放送局を選ぶ(➡18ページ)。
デジタルオーディオプレーヤーの音声(D.AUDIO)	D.AUDIO を押してから ■ を押す(➡27ページ)。

4 本体 TAPE REC を押す

- CDやMDはまるごと録音されます。
- 他の機器からの録音の場合は、接続した機器の再生を始めてください。

録音を途中でやめるには

■ を押します。

CDやMDの中の１曲だけを録音する

手順4の前に、録音したい曲を再生する

- 手順4で本体TAPE RECを押すと、曲の頭に戻り、その曲だけが録音されます。

CDやMDの途中の曲から最後の曲まで録音する

手順4の前に ▶▶| または |◀◀ で曲番号を指定する

- 手順4で本体TAPE RECを押すと、選んだ曲の頭から最後の曲までを録音します。

CDやMDをプログラム録音する

手順4の前に、録音したい曲をプログラムする(➡22ページ)

曲間にあき(ブランク)を作らずに録音する

手順4の前に、CDまたはMDを一時停止状態にする

録音済みのテープの音を消す

手順3で「他の機器の音声(D.AUDIO)」を選び、本体 TAPE REC を押す

- 接続した機器は再生しないでください。

録音中に表示窓の表示内容を切換えるには

表示/文字 を押します。

- 押すごとに、表示が次のように切換わります。

■ CD/MDを録音中

- CDまたはMD表示とTAPE表示
- 録音中のCDまたはMDの曲番号と再生経過時間

時計表示

■ ラジオ放送(FM/AM)を録音中

- FMまたはAM表示とTAPE表示
- 録音中のラジオ放送の周波数

時計表示

■ デジタルオーディオプレーヤーの音声(D.AUDIO)を録音中

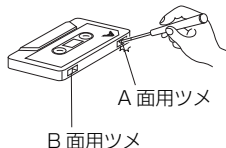
D.AUDIO表示とTAPE表示

時計表示

お知らせ

- CDやMDを録音中、曲の途中でテープが反転したときは、再生中の曲がもう一度頭から、うら面に録音されます。ただし、おもて面への録音時間が12秒以下のときは、そのひとつ前のトラック(曲)の頭からうら面に録音されます。
- ライブ演奏の記録など、全体が1曲として録音されているMDをテープに往復録音するときは、あらかじめDIVIDE機能（➡36ページ）を使って、MDの録音内容をテープ片面の長さに合わせて分けてください。

大切な録音を消さないために

- カセットテープには誤消去防止用のツメがついています。ツメを折っておくと録音(消去)ができなくなり、誤って消してしまうことが防げます。
- 再び録音したいときはツメの穴をセロハンテープなどでふさぎます。

編集の前に/タイトルをつける

編集の前に知っておいてほしいこと

- 誤消去防止状態(➡51ページ)になっているMDは編集できません。編集の操作をすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- 編集操作を終了すると(タイトル編集時は、MDを取り出すか電源を切ったとき)「EDITING」が表示されたあとに「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。
「WRITING」が点滅表示されている間は、振動を与えないように注意してください。再生できなくなるおそれがあります。
- MDがプログラム再生中、ランダム再生中、グループ再生中は編集できません。

タイトルをつける

MDにディスクタイトル、曲タイトル、グループタイトルをつけることができます。

1 タイトル/編集 または グループタイトル/編集 を押してタイトル編集モードに切換える

■ディスクタイトル、曲タイトルを編集するとき

タイトル/編集 を押す

タイトル編集表示になります。

DISC TITLE?
YES?→SET

- 曲タイトルを編集するときは、⏭(または⏮)を押して曲番号を選びます。
- 再生中は、再生中の曲番号が表示されます。ディスクタイトルを編集するときは、⏮をくり返し押して「DISC TITLE?」を選びます。

■グループタイトルを編集するとき

グループタイトル/編集 を押す

グループタイトル編集表示になります。

GR 1 TITLE?
YES?→SET

- ▼NEXT(または▲PREV.)を押してグループ番号を選びます。
- グループ分けされていないときは、「FORM GR」表示になります。(➡39ページ)

2 SET を押す

- タイトル入力表示に切換わります。

入力される文字の種類
現在選ばれている文字の種類(例はカタカナ)が[ ]で囲われます。
ア:カタカナ A:英大文字·記号
a:英小文字·記号 1:数字

3 タイトルを入力する

- 入力のしかたは、「タイトル入力のしかた」(➡35ページ)をご覧ください。

タイトル入力に使うボタン

表示/文字	:文字の種類を切換えます。
≧10(または10)	:入力位置を移動します。
数字ボタン(1~9、0)	:文字を入力します。
CANCEL	:入力した文字を消します。

4 ENTER を押す

- タイトルがつけられました。

5 本体の MD⏏ を押してMDを取り出す

お知らせ

- MDに入力できる文字数について
  1枚のMDにつき、最大1792文字（英数字・記号)、1曲につき最大61文字のタイトル入力ができます。ただし、MDの記録方式の制約により実際に入力できる文字数は、これより少なくなります。
  カタカナは1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。また、スペース（空白）は文字と同じ量のデータを必要とします。
  ステレオ長時間録音（LP2またはLP4）したときは、曲タイトルの先頭にLP：とスペース（空白4文字分）が自動的に記録されるため、入力できる文字数が少なくなります。
  LP：はつけない設定にすることもできます。
  (➡28ページ)

  例：
  - ステレオ長時間録音で120曲を録音したMDでは、全曲に英数字で10文字ずつタイトル入力することができます。
  - ステレオ長時間録音で60曲を録音したMDでは、全曲にカタカナで10文字ずつタイトル入力することができます。

- 62文字以上のタイトルは、本機で編集できません。タイトルを入力した機器で編集してください。
- 録音中にも、タイトルをつけることができます。
- CDの録音中(1曲録音は除く)は、16曲分まで録音中にタイトルを先行して入力することができます(タイトルリザーブ機能)。
- 録音が終了するまでに ENTER が押されなかったときは、入力した内容は取り消されます。
- グループ録音中は、そのグループのタイトルを入力できます。

タイトル入力のしかた

例：「ス」と入力するには、

1）表示/文字 をくり返し押して「ア」を[ ]で囲います。
   - 入力文字が「カタカナ」になります。

2）サ/DEF 3 をくり返し押して、「ス」を表示させます。
   - 押すごとに「シ➡ス➡セ➡ソ➡サ…」と順番に表示されます。合計3回押して入力位置に「ス」を表示させます。

- 入力できる文字は「タイトル入力に使える文字」(➡右記参照)をご覧ください。

文字の入力位置を移動するには

- ≧10 または 10 を押します。
- 「ウエ」「NO」のように、同じボタンを使う入力が連続するときは、1文字目を入力したあと、≧10 を押して文字の入力位置を右に移動させてから2文字目を入力します。

文字を削除するには

- 削除したい文字に入力位置を移動させ、CANCEL を押します。

スペース(空白)を入力するには

- 「記号」からスペース(空白)を選びます(➡下記参照)。タイトルの末尾では ≧10 を押して入力することもできます。

タイトル入力をやめるには

- タイトル/編集 または グループタイトル/編集 を押します。それまで入力した内容は取り消されます。

タイトル入力に使える文字

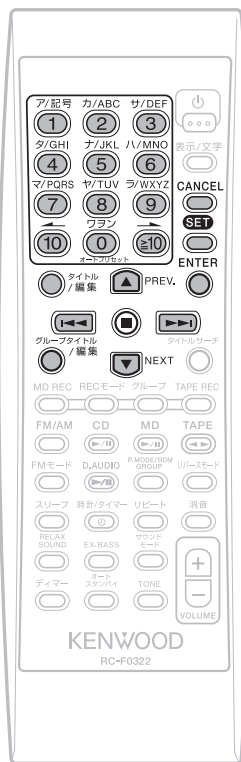
ボタン	カタカナ	英大文字	英小文字	数字
ア/記号 1	アイウエオ ァィゥェォ	記号 *	記号 *	1
カ/ABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サ/DEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タ/GH 4	タチツテトッ	GHI	ghi	4
ナ/JKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハ/MNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マ/PQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤ/TUV 8	ヤユヨ ャュョ	TUV	tuv	8
ラ/WXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ワヲン 0	ワヲン ゛ ー ゜			0

*「記号」で入力できる内容

スペース[空白]	!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+
、	ー	。	／	:	;	<	=	>	?	@	_	`

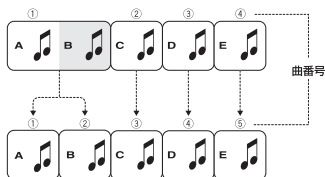
・「゛」や「゜」は、濁音や半濁音になる文字だけに入力できます。

MDを編集する

曲を編集する

お知らせ

- 操作の途中で CANCEL を押すと前の手順に戻れます。タイトル/編集 または グループタイトル/編集 を押すと編集を中止します。
- 曲番号を選ぶとき、数字ボタン（ア/記号 1 ～ 10、ワヲン 0、≧10）を押して直接選ぶこともできます。

曲を2つに分ける(DIVIDE)

例： A曲とB曲に分けると

1 **タイトル/編集 をくり返し押して「DIVIDE?」を選んでから、SET を押す**

- MDが停止中は、１曲目の再生が始まり、再生中は再生が継続します。

2 **▶▶I または I◀◀ を押して分けたい曲を選ぶ**

- 再生中に▶▶IまたはI◀◀を押したままにすると早送り、早戻しができます（リモコンのみ）。

3 **分けたいところで SET を押す**

- 押したところから4秒間がくり返し再生されます。

```
POSIT.    0
 YES?→SET
```

- 希望どおりに分けられたときは、手順5に進みます。

4 **▶▶I または I◀◀ を押して微調節する**

- ±128ポジション(SP：標準モードで約±8秒)の範囲で分ける位置の微調節ができます。

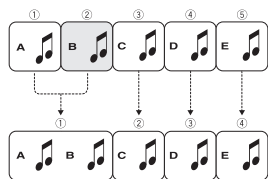
5 **SET を押す**

6 **ENTER を押す**

お知らせ

- 254曲録音してあるMDの場合、「DIVIDE ?」は選べません。
- 曲にタイトルがついているときは、分けた曲両方に同じタイトルがつきます。
- Net MD機器でPCからチェックアウトされた曲を分けようとすると「TRACK PRTECTED」と表示がされます。
  分けてもよろしければ SET を押します。

曲をつなげる(COMBINE)

隣り合う2つの曲をつなげることができます。
例： A曲にB曲をつなげると

1 タイトル/編集 をくり返し押して「CMBN?」を選んでから、SET を押す

2 ►►| または |◄◄ を押してつなぎたい曲を選ぶ

例：２曲目と１曲目をつなげるとき

• 表示は「1+2 ?」「2+3 ?」のように変わります。1つ前の曲とつなげることができます。

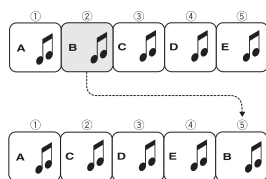
3 SET を押す

4 ENTER を押す

お知らせ

- MDLPモード(SP/LP2/LP4)の異なる曲、デジタル録音した曲（CD）とアナログ録音した曲（ラジオ放送など）をつなげることはできません。つなげようとすると「CANNOT CMBN」と表示されます。
- 曲にタイトルがついているときは、番号が小さい方の曲タイトルが残ります。
- Net MD機器でPCからチェックアウトされた曲をつなごうとすると「TRACK PRTECTED」と表示がされます。
つないでもよろしければ SET を押します。

曲を移動する(MOVE)

例： B曲を移動すると

1 タイトル/編集 をくり返し押して「MOVE?」を選んでから、SET を押す

2 ►►| または |◄◄ を押して移動したい曲番号を選び、SET を押す

• 表示は「 ← 2 ?」「 ← 3 ?」のように変わります。

3 ►►| または |◄◄ を押して移動先の曲番号を選び、SET を押す

例：２曲目を５曲目に移動するとき

5← 2 ?
OK?→SET

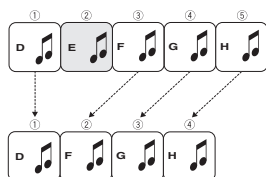
• 移動先の曲番号がグループ登録されているときは、移動後そのグループに登録されます。また、移動先の曲番号がグループ登録されていないときは、移動後にグループ登録からはずれます。

4 ENTER を押す

リモコンのボタンの位置は36ページをご覧ください。

曲を削除する（ERASE）

例： 曲を削除すると

ご注意

- 一度消した曲は戻すことができません。よく確認した上で削除してしてください。

1 タイトル/編集 をくり返し押して「ERASE?」を選んでから、SET を押す

2 ►►| または |◄◄ を押して削除したい曲番号を選び、SET を押す

- 曲番号の前に「⋰」がつきます。「⋰」のついている曲が削除されます。
- 間違えたときは、CANCEL を押して「⋰」を消します。
- 手順2の操作をくり返して15曲まで選ぶことができます。

  16曲目を選んで SET を押すと、「MEMORY FULL」が表示されます。

3 ENTER を押す

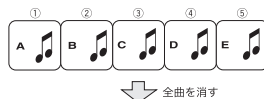
4 本当に削除してもよければ ENTER を押す

お知らせ

- Net MD機器でPCからチェックアウトされた曲を削除しようとすると「TRACK PRTECTED」と表示がされます。
  削除してもよろしければ SET を押します。

全曲を削除する（ALL ERASE）

BLANK DISC

ご注意

- 一度消した曲は戻すことができません。よく確認した上で削除してください。

1 タイトル/編集 をくり返し押して「ALL ERASE?」を選んでから、SET を押す

2 本当に削除してもよければ ENTER を押す

お知らせ

- Net MD機器でPCからチェックアウトされた曲を削除しようとすると「TRACK PRTECTED」と表示がされます。
  削除してもよろしければ SET を押します。

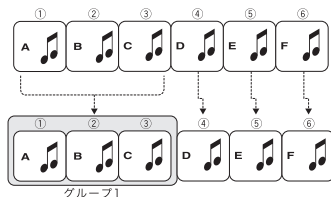
グループ単位で編集する

リモコンのボタンの位置は36ページをご覧ください。

曲（トラック）を最大99のグループに分けて管理することができます。

グループをつくる（FORM GR）

曲をまとめてグループにできます。グループにできるのは、どのグループにも登録されていない連続した曲です。

例： 曲A、B、Cをグループにまとめると

1 タイトル/編集 または グループタイトル/編集 をくり返し押して「FORM GR?」を選んでから、SET を押す

2 ▶▶| または |◀◀ を押して新しいグループの先頭の曲を選び、SET を押す

3 ▶▶| または |◀◀ を押して新しいグループの最後の曲を選ぶ

最後の曲番号

```
T  1 →T  3?
OK?→SET
```

4 SET を押す

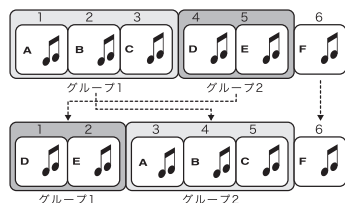
5 ENTER を押す

お知らせ

- 他のグループに属している曲を選んだときは、「GROUP TRACK」と表示され、次の手順に進めません。
- 先頭の曲から最後の曲の間に他のグループがあるときは「CANNOT FORM !」と表示され、次の手順に進めません。

- すでに、99グループに分かれているときは、「FORM GR」は表示されません。

グループを移動する(MOVE GR)

例： グループ2を移動すると

1 グループタイトル/編集 をくり返し押して「MOVE GR?」を選んでから、SET を押す

2 ▼NEXT または ▲PREV. を押して移動させるグループを選ぶ

```
G    ←G  2?
OK?→SET
```

3 SET を押す

4 ▼NEXT または ▲PREV. を押して移動先を選ぶ

```
G    1←  2?
OK?→SET
```

5 SET を押す

6 ENTER を押す

グループに曲を追加する(ENTRY GR)

（ENTRY：エントリー）

曲を選んで、指定したグループの最後の曲として追加できます。

例： グループ1に曲Fを追加すると

1 グループタイトル/編集 **をくり返し押して「ENTRY GR?」を選んでから、SET を押す**

2 ▶▶I または I◀◀ **を押してグループに登録する曲を選び、SET を押す**

TR.　6?
OK?→SET

3 ▼NEXT **または** ▲PREV **を押して登録先のグループを選ぶ**

- 選んだグループ番号が点滅表示されます。

4 SET **を押す**

5 ENTER **を押す**

お知らせ

- すでにそのグループに属している曲を選んだときは、「CANNOT ENTRY!」と表示され、次の手順に進めません。

グループを2つに分ける(DIVIDE GR)

例： グループ1を2つに分けると

1 グループタイトル/編集 **をくり返し押して「DIVIDE GR?」を選んでから、SET を押す**

2 ▼NEXT **または** ▲PREV **を押して分けるグループを選んでから、** ▶▶I **または** I◀◀ **を押してどの曲から分かるかを選ぶ**

- グループの先頭の曲を選んだときは、次の手順に進めません。

3 SET **を押す**

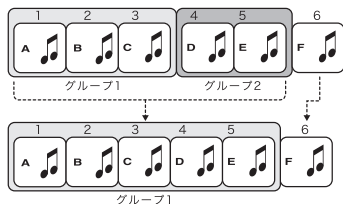
4 ENTER **を押す**

お知らせ

- グループにタイトルがついているときは、分けたグループ両方に同じタイトルがつきます。

グループをつなげる(COMBINE GR)

となりあう2つのグループを1つのグループにできます。

例： グループ1、2をつなげると

1 グループタイトル/編集 **をくり返し押して「CMBN GR?」を選んでから、**

SET **を押す**

2 NEXT **または** PREV. **を押してつなげるグループの組を選ぶ**

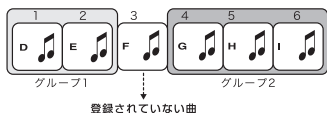
G 1+G 2?
OK?→SET

- 連続するグループ番号が、表示されます。グループがないときは「--」と表示されます。

3 SET **を押す**

4 ENTER **を押す**

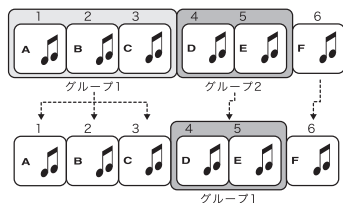
お知らせ

- 2つのグループの間に、グループに登録されていない曲があると、つなげることはできません。「CANNOT CMBN」と表示され、前の手順に戻ります。

- グループにタイトルがついているときは、番号が小さい方のグループタイトルが残ります。

グループを解除する(UNGROUP/UNGR ALL)

(アングループ)

指定したグループを解除する(UNGROUP)

例： グループ1を解除すると

1 グループタイトル/編集 **をくり返し押して「UNGROUP?」を選んでから、**

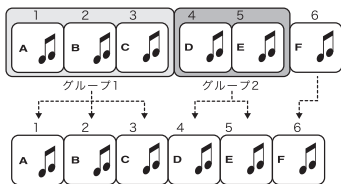
SET **を押す**

2 NEXT **または** PREV **を押して解除するグループを選び、**

SET **を押す**

3 ENTER **を押す**

全グループを一度に解除する(UNGR ALL)

例： 全グループを解除すると

1 グループタイトル/編集 **をくり返し押して「UNGR. ALL?」を選んでから、**

SET **を押す**

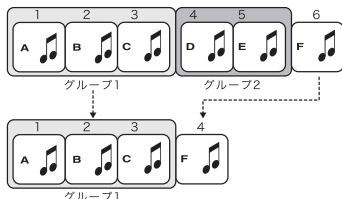
- 「UNGR.」は「UNGROUP」の略です。

2 ENTER **を押す**

リモコンのボタンの位置は
36ページをご覧ください。

グループを削除する（ERASE GR）

グループと、そのグループ内の曲を削除します。
例： グループ2を削除すると

ご注意
- 一度消した曲は戻すことができません。よく確認した上で消してください。

1 グループタイトル/編集 をくり返し押して「ERASE GR?」を選んでから、SET を押す

2 NEXT または PREV を押して消すグループを選ぶ

G 2 ERASE?
ERASE?→SET

3 SET を押す

4 本当に削除してもよければ ENTER を押す

全グループを削除する（ALL ERASE）

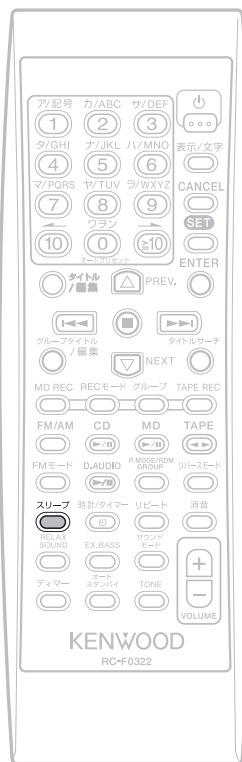
全グループと、そのグループ内のすべての曲を削除します。

ご注意
- 一度消した曲は戻すことができません。よく確認した上で消してください。

1 グループタイトル/編集 をくり返し押して「ALL ERASE?」を選んでから、SET を押す

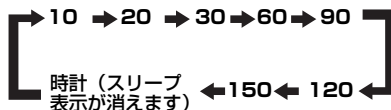
2 本当に削除してもよければ ENTER を押す

おやすみタイマー

タイマー操作をする前に
時計を合わせておいてください。（➡15ページ）

設定した時間が経過すると自動的に電源が「切」になります。

スリープ を押す

- 押すごとに、時間（単位：分）が次のように切換わります。

10 ➡ 20 ➡ 30 ➡ 60 ➡ 90 ➡ 120 ➡ 150 ➡ 時計（スリープ表示が消えます）➡ 10

お知らせ

- おやすみタイマーを設定すると自動で表示窓が暗くなります。（オートディマー機能）

設定した時間を変更するには

スリープ をくり返し押して時間を選び直します。

設定した時間(残り時間)を確認するには

おやすみタイマーが設定された状態で、スリープ を1回押します。

プログラムタイマーを使う

TIMER 1、TIMER 2またはTIMER 3に「タイマー再生」または「タイマー録音」の設定ができます。
異なる時間帯に複数のプログラムタイマーを動作させることができます。
タイマー再生が動作を始めるとき、音量は徐々に大きくなります(**ウェイクアップボリューム機能**)。

ご注意

- 電源「入」の状態では、プログラムタイマーが動作しません。
  設定した開始時刻の3分前までには、電源を「切」の状態にしてください。
- 複数のプログラムタイマーを動作させるときは、タイマーの終了時間と開始時間の間に3分以上間隔をあけて設定してください。

お知らせ

- プログラムタイマーに設定した内容は、改めて設定し直さない限り同じ内容が記憶されています。
- CDやMDのプログラム再生、ランダム再生、グループ再生はできません。
- 電源コードを外したり停電などで電源が切れたときは、プログラムタイマーの設定が解除されることがあります。設定内容が消えてしまったときは、時計とプログラムタイマーをもう一度設定し直してください。
- REC TIMER（録音タイマー）で録音中の音量は、「0」に設定されているので音は出ません。音を聞きたいときは、音量を調節してください。

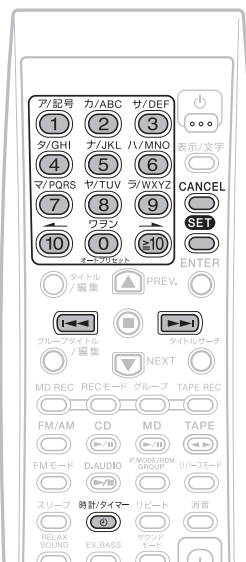
録音または再生するソース(音源)の準備をする

タイマー録音するとき

MD に録音する	MD挿入口に録音用MDを入れる
テープに録音する	カセットホルダーに録音用テープを入れる

タイマー再生するとき

CD を聞く	CD を入れる (➡20 ページ)
MD を聞く	MD を入れる (➡21 ページ)
ラジオを聞く	放送局をプリセットしておく (➡19 ページ)
テープを聞く	テープを入れる (➡25 ページ)
デジタルオーディオプレーヤーを聞く	ケンウッドデジタルオーディオプレーヤーを接続する (➡27 ページ)

プログラムタイマーの設定

タイマー操作をする前に
時計を合わせておいてください。(➡15ページ)

1 **時計/タイマー を押して「TIMER1」、「TIMER2」または「TIMER3」のいずれかを選び、SET を押す**

例： TIMER1のとき

```
TIMER1→ SET
OFF?→CANCEL
```

2 **⏭ (または ⏮)と SET を使って、タイマーの設定をする**

- 設定方法は、45ページをご覧ください。
- 時刻の設定は、リモコンの数字ボタンでもできます(15ページ参照)。
- CANCEL を押すと1つ前の設定に戻ります。

3 **電源「入」でプログラムタイマーの設定をしているときは、電源を「切」にする**

電源「入」の状態では、プログラムタイマーは動作しません。

手順2での設定

①開始時刻の設定

「時」の設定➡ SET ➡ 「分」の設定➡ SET

②終了時刻の設定

「時」の設定➡ SET ➡ 「分」の設定➡ SET

③ONCEとWEEKLYの設定

「ONCE」または「WEEKLY」を選ぶ➡ SET

- ONCE　：タイマーが1回動作すると解除されます。タイマーが解除されても設定内容は残ります。
- WEEKLY：タイマーを解除するまで毎週動作します。

④曜日の設定

「曜日」の設定➡ SET
「Sun.」(日曜日)～「Sat.」(土曜日)の各曜日と「Mon.－Fri.」(月曜日～金曜日)、「Mon.－Sat.」(月曜日～土曜日)、「Everyday」(毎日)から選べます。

⑤ REC TIMER とPLAY TIMERの設定

「PLAY TIMER」または「REC TIMER」を選ぶ
➡ SET

- PLAY TIMER：タイマー再生するとき選びます。
- REC TIMER：タイマー録音するとき選びます。

「PLAY TIMER」選んだときは、左下の欄に進みます。
「REC TIMER」を選んだときは、右下の欄に進みます。

PLAY TIMERの設定

⑥再生するソース(音源)の設定

- 「FM」(FM放送)または「AM」(AM放送)➡ SET ➡受信する放送局のプリセット番号の選択(数字ボタンでも選べます)➡ SET
- 「CD」または「MD」➡ SET ➡再生を開始する曲の選択(数字ボタンでも選べます)➡ SET
- 「TAPE」➡ SET
- 「D.AUDIO」➡ SET

⑦音量の設定

お好みの音量に調節➡ SET

PLAY TIMERの設定は終了です。

➡44ページ手順3へ進みます。

REC TIMERの設定

⑥録音するソース(音源)録音先の設定

- 「FM→MD」(FM放送をMDに録音する)または「AM→MD」(AM放送をMDに録音する)➡ SET ➡受信する放送局のプリセット番号の選択(数字ボタンでも選べます)➡ SET ➡録音モードの選択➡ SET
- 「D.AUDIO→MD」(他の機器の音声をMDに録音する)➡ SET ➡録音モードの選択➡ SET
- 「FM→TAPE」(FM放送をテープに録音する)または「AM→TAPE」(AM放送をテープに録音する)➡ SET ➡受信する放送局のプリセット番号の選択(数字ボタンでも選べます)➡ SET
- 「D.AUDIO→TAPE」(他の機器の音声をテープに録音する)➡ SET

REC TIMERの設定は終了です。

➡44ページ手順3へ進みます。

MDのグループ録音の設定について

タイマー録音でMDに録音するとき、グループ録音の設定は、プログラムタイマーを設定する前または設定が終了してから行います。プログラムタイマー設定中は、グループを押しても設定を変えることはできません。
電源「切」でプログラムタイマーを設定したあと、グループ録音の設定を変更するときは、電源を「入」にしてからグループを押してください。

ラジオまたはD.AUDIOの トラックマークのつけかたについて

プログラムタイマーでMDにラジオまたはD.AUDIOを録音するときは、トラックマークのつけかたが選べます。
MDのトラックマークの付け方を変えるときは、タイマー録音の設定をする前か設定を終えてから行ってください（➡30、31ページの手順4と5）。

プログラムタイマーの解除と 再設定について

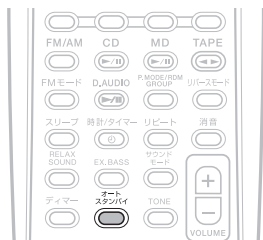
プログラムタイマーの解除

44ページで「WEEKLY」に設定したタイマーを一時的に解除するには、44ページの手順1で解除するタイマーを選び、SETを押さないでCANCELを押します。表示窓の⏻とプログラムタイマー番号が消灯します。
タイマーは解除されても、設定内容は残ります。
タイマー録音が動作中は、プログラムタイマーの解除はできません。

プログラムタイマーの再設定

44ページで「ONCE」に設定して動作が終了したタイマー、上記「**プログラムタイマーの解除**」の操作をして一時的に解除されているタイマーを再設定することができます。
44ページの手順1で再設定するタイマーを選び、SETをくり返し押します。設定が終了し表示窓に設定内容が一通り表示されます。
表示窓に⏻とプログラムタイマー番号、（REC TIMERのときはREC表示）が点灯していることを確認してください。電源を「切」にしておくと、設定した開始時刻でタイマーがスタートします。

オートスタンバイ

ラジオ（FM/AM）とD.AUDIO以外のソース（音源）のときに無音状態が3分以上続くと、自動的に電源が「切」になります。

■ ソース（音源）がFM/AMまたはD.AUDIO以外のときに

オート スタンバイ
を押す

- 表示窓に「A. STANDBY SET」が数秒間表示され、A. STANDBY表示が点灯します。

オートスタンバイの動作

CD、MDまたはテープを再生しているときや、録音しているとき：
操作や再生、録音が終了すると、オートスタンバイが動作（A.STANDBY表示が点滅）し、そのまま3分が経過すると自動的に電源が「切」になります。3分以内に操作をしたときは、操作や再生、録音が終了してから再度オートスタンバイが動作します。

電源が「切」になる20秒前になると「A. STAND-BY OFF」表示が点滅します。

解除するには

オート スタンバイ
をもう一度押します。

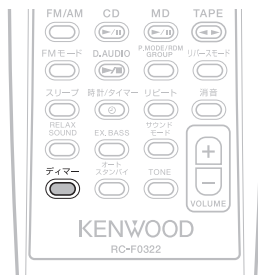
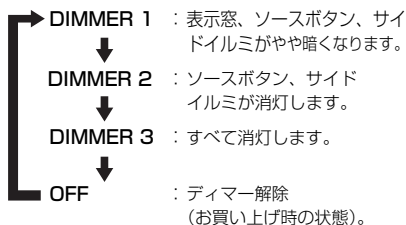
お知らせ
- 音量（ボリューム）を「0」にした状態はオートスタンバイでいう「無音状態」ではありません。

ディマー

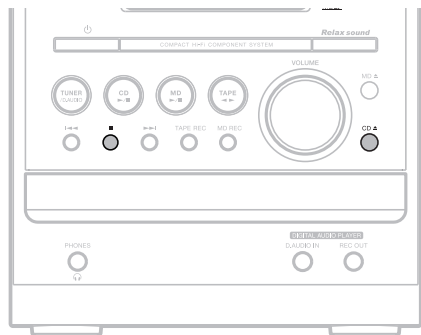
表示窓やソース（音源）ボタンなどの照明の明るさを変えることができます。

ディマー
を押す

- 押すごとに、次のように切換わります。

DIMMER 1	：表示窓、ソースボタン、サイドイルミがやや暗くなります。
↓	
DIMMER 2	：ソースボタン、サイドイルミが消灯します。
↓	
DIMMER 3	：すべて消灯します。
↓	
OFF	：ディマー解除（お買い上げ時の状態）。

お知らせ
- デモ表示中は、ディマー解除の状態になります。

チャイルドロック

CDやMDが取り出せないようにできます。小さなお子様のいたずら防止に便利です。

■ 電源「切」のとき

本体の■を押したまま CD≜ を押す

LOCKED

チャイルドロックすると、CD≜ または MD≜ を押しても、「LOCKED」と表示され、CDやMDを取り出せなくなります。

解除するには

■ 電源「切」のとき

もう一度、上記の操作をします。

UNLOCKED

使用上のご注意

本機の置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。

- 湿気やほこりの多い所
- バランスの悪い不安定な所
- 熱器具の近く
- OA機器やけい光灯のすぐそば
- 風通しの悪い狭い場所
- 直射日光の当たる所
- 極端に寒い所
- 振動の激しい所
- 磁気を発生する所

ご注意

本機の使用環境温度は、5℃ ～ 35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

露、水滴がついたら

次のようなとき、本機内部のレンズに露、水滴が付いて正しく再生できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 寒い所から急に暖かい部屋に移動したとき

このようなときは、電源を「入」にしたまま約1～2時間待ってから、ご使用ください。

本体の掃除

パネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとからからぶきしてください。

ご注意

シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

CDとCD-R/CD-RWについて

CD についているマークを確認して

文字のある面に、

または のいずれかマークが入っている CD をお使いください。DVD やビデオ CD は再生できません。

- 本機では、CD 規格（CD-DA）に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。CD を再生する際には、「CD ロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD 規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

CD-R/CD-RW ディスクについて

お客様が編集した CD-R/CD-RW ディスクは、ファイナライズ処理されているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- 音楽用の CD フォーマットで記録された CD-R/CD-RW ディスクが再生できます。
ただし、ディスクの特性・記録状態・傷・汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上のご注意をよくお読みください。
- MP3 などの音声ファイルの再生または CD テキストの表示には対応しておりません。
- 音楽用の CD フォーマット以外で記録したことのある CD-RW ディスクは、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。
- レーベル面に印刷可能な CD-ROM、CD-R、CD-RW を使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取り出しができなくなることがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。

ステレオを聞くときのエチケット

ヘッドホンをご使用になるときには、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

■ ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。
特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

MD の制約について

MDは、従来のカセットテープなどとは異なる独自の方式で情報を記録しています。このMDの記録方式にはいくつかの制約があるため、次のような症状になることがあります。これらは製品の故障ではありませんので、ご了承ください。

<table>
<tr><th>症　状</th><th>原　因</th></tr>
<tr><td>MDに示された収録可能時間を使い切っていないのに「DISC FULL」が表示される。</td><td>MDは録音時間に関係なく、録音できる曲数(トラック数)に制限があります。曲(トラック)番号が255以上になる録音はできません。
(録音可能な最大トラック数は254曲まで)</td></tr>
<tr><td>曲番号にも収録可能時間にも余裕があるのに「DISC FULL」が表示される。</td><td rowspan="4">部分的に消して録音し直す操作をくり返すと、ディスクのあちらこちらに空き部分ができます。このような録音をしたMDには、１曲のデータが空き部分に細かく分けて記録されます。録音中、分けられた部分が多くなると「DISC FULL」が表示されることがあります。分けられて８秒以下(SP:表示モード時)の部分ができると、その曲は、「COMBINE」でつなげることはできません。
また、その部分は消しても残り時間は増えません。
細かく分けて記録されている曲は、早送りや早戻しすると音が途切れることがあります。
また、MDLP規格による録音(MDLP)モードが異なる曲は、「COMBINE」でつなげることができません。</td></tr>
<tr><td>「COMBINE」機能が使えない。</td></tr>
<tr><td>曲を消しても残り時間が増えない。</td></tr>
<tr><td>早送り、早戻しをすると、音が途切れることがある。</td></tr>
<tr><td>録音した時間と残り時間を足しても、MDに表示された収録可能時間にならない。</td><td>MDは、最低でも12秒間(SP:標準モード時)の連続したスペースがないと録音できません。そのため、短い空き部分のたくさんできたMDは、実際に録音できる時間は、短くなります。</td></tr>
</table>

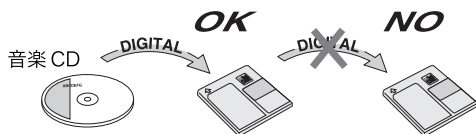
MDは、CDのクリアな音をデジタル録音することができます。ただし、こうして録音されたMDを他のMDに再びデジタル信号のまま他の機器でコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」をつくることはできません。この決まりをSCMS(シリアル･コピー･マネージメント･システム)といいます。本機は、この決まりに準拠して設計されています。

シリアル　コピー　マネージメント　システム

SCMS (Serial Copy Management System)

シリアル・コピー・マネージメント・システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは１世代だけと規定したものです。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問い合わせ先：
社団法人私的録音補償金管理協会(sarah)
東京都千代田区麹町1-8-14麹町YKビル２F
電話 (03) 3261－3444

ご注意

- この規定により、一度デジタル録音されたMDからは、他の機器へデジタル録音することはできません。
- デジタル録音したCD-R/CD-RWディスクは、MDにデジタル録音することができません。「**SCMS CANNOT COPY**」が表示されます。この場合アナログで録音してください(➡29ページ)。

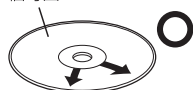
倍速録音に関して(HCMS)

録音用MD(ミニディスク)は等速を超えるスピードで録音(コピー)することが可能です。このため著作権を保護するための規制が必要になります。
本機では、CDから一度倍速録音（等速を超える録音）した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲の倍速での再録音はできません。
例えば、CDの1曲目を倍速録音した場合、倍速録音が開始してから74分間は、そのCDの1曲目を再びMDに倍速で録音することはできません。また、CDから倍速録音をする場合、録音開始から74分以内に合計で100曲まで録音することができます。

CD、MD、テープの取り扱いについて

CDの取り扱いかた

- CDにテープやシールなどを貼ったり、字を書いたりしないでください。
- CDは曲げないでください。
- ハートや花などの形をした特殊形状のCDは、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

CDのお手入れ

内側から外側へ柔らかい布でふく

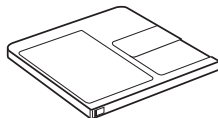
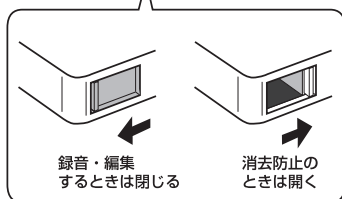
連続したキズは音飛びの原因となります。

- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかないでください。

MDの取り扱いかた

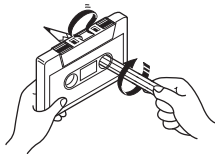
- **シャッターは開けないで**
  無理に開けようとするとディスクがこわれます。

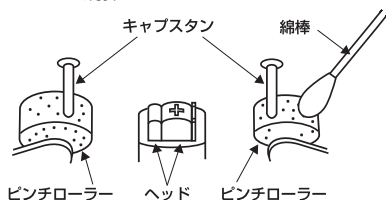
大切な録音を消さないために

- MDには、大切な録音を間違って消さないための誤消去防止つまみがついています。

ご注意

- 曲名などを記入したラベルは、指定以外の位置に貼らないでください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままMDを挿入すると、故障の原因となります。

カセットテープの取り扱いかた

- テープにたるみがありますと、機械に巻き込まれたり、故障の原因になります。使用する前に右図のようにしてたるみを取り除いてください。また、テープを引き出したり、テープ面に触れないでください。

テープデッキのヘッド部の清掃

音が小さくなったり音質が悪くなる前に、およそ10時間使うごとにヘッドやピンチローラー、キャプスタンを清掃します。

市販のクリーニングキット（綿棒とクリーニング液）を使うと便利です。

本体表面のお手入れ

- キャビネット表面の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

- キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、シンナーやベンジンでふかないでください。また、殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

MD/CDのメッセージ

MDのメッセージ	意味	処置
CANNOT ENTRY!	曲を同じグループに登録しようとした。	正しい曲を選んでください(➡40ページ)。
CANNOT FORM!	グループをはさんでグループにする曲を選んでしまった。	グループをはさまないように曲を選んでください(➡39ページ)。
CANNOT GROUP!	グループに関する情報量の制限を超えている。(グループに関する情報は、タイトルの領域に記録されます)	それ以上のグループは作れません。(不要なディスク名や曲名は消してください)
CANNOT CMBN	MDLPモードが異なる曲、または8秒以下(SP:標準モード時)の短い曲をつなげようとした。	MDのシステム上の制約です。
CANNOT LISTEN!	倍速録音中に音量を調節しようとした。	倍速録音中は、CDの音は聞けません。
CANNOT TITLE	MDに合計1792文字を超えて入力しようとした。	それ以上のタイトルは入力できません。
READ ERROR	MDの情報が読み取れない。	電源を入れ直してください。それでも同じメッセージが表示されるときはMDの異常(損傷)が考えられます。MDを交換してください。
DISC FULL	ディスクの空き時間が足りない。トラック数が254を超える。	他の録音用MDに取り換えてください(➡50ページ)。
DISC PROTECTED	MDが誤消去防止状態のまま編集または録音をしようとした。	MDの誤消去防止つまみを閉じてください(➡51ページ)。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生した。	■(停止)を押していったん停止してから、MD ⏏(取り出し)を押してMDを取り出し、もう一度操作し直してください。
GROUP FULL	100以上のグループを作ろうとした。	グループは99まで作ることができます。
GROUP TRACK	グループ登録されている曲を選んで新しいグループを作ろうとした。	グループに登録されていない曲を選んでください(➡39ページ)。
LOAD ERROR	MDの入れ方がおかしい。	MDを正しく入れてください。
MD NO DISC	MDが入っていない。	MDを入れてください。
PLAYBACK DISC	再生専用MDに録音･編集しようとした。	録音用MDに取り換えてください。
SCMS CANNOT COPY	CD-R/CD-RW（デジタルオーディオ）のコピーを作ろうとした。	等速でアナログ録音してください(➡29ページ)。
TRACK PROTECTED	Net MDのフォーマットで音楽データが記録された(チェックアウト)曲をDIVIDE、COMBINEまたは消去をしようとした。	Net MDに対応した機器で操作してください。
	本機以外の機器によってその曲が誤消去防止になっている。	録音した機器で編集操作してください。
HCMS CANNOT COPY	倍速で録音した曲を、その曲の録音開始から74分以内に再び倍速録音しようとした。	著作権保護のため内部タイマーが働いています。74分以上待つか、または等速録音にしてください。
BLANK DISC	未録音のディスクです。	ー

CD のメッセージ	意味	処置
CANNOT PLAY	再生できないCDまたは傷の多いCDを再生しようとした。	CDを交換してください。
CD NO DISC	CDが入っていない。	CDを入れてください。
	CDが裏返しに入っている。	CDを正しく入れてください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、ちょっとお確かめください。

症　状	原　因	処　置	参照ページ
スピーカーから音が出ない。	接続をまちがえている。	「接続」ページを参照し、正しく接続し直す。	13
	ヘッドホンがつながれている。	ヘッドホンのプラグを抜く。	10
時刻表示が点滅している。	停電があった。または電源コードを抜いた。	時計を合わせ直す。	15
CD/MDの再生が始まらない。	CDが裏返しに入っている。	文字のある面を上にして入れる。	20
	レンズが結露している。	電源を「入」にしたまま１～２時間待ち、乾いてから使う。	49
特定の箇所が正常に再生できない。	CDに傷や汚れがある。	CDをクリーニングするか、または交換する。	51
	MDにエラーが発生した。	MDを録音し直す。	28
テープの再生音が小さい。	ヘッドやキャプスタンが汚れている。	ヘッドやキャプスタンを清掃する。	51
MDまたはテープの録音ができない。	誤消去防止状態になっている。	MDの誤消去防止つまみを閉じる。	51
		テープの誤消去防止用ツメをセロハンテープなどでふさぐ。	33
放送が受信できない。	アンテナが接続されていない。	アンテナを接続する。	12
ブーンという雑音がでる。	テレビやOA機器がそばにある。	テレビやOA機器などから離す。	49
タイマーが働かない。	時計を合わせていない。	時計を合わせる。	15
	電源が「入」になっている。	タイマー設定後、電源を「切」にする。	44
リモコンが操作できない。	リモコンの電池が消耗している。	新しい乾電池（単３形）と交換する。	9
	リモコン受光部の受信範囲外で操作している	受信範囲内で操作する。	11
ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーがリモコン/本体で操作できない。	デジタルオーディオプレーヤーが専用ケーブルで接続されていない。	別売品の専用ケーブルPNC-150で接続する。	14
	非対応モデルを接続している。	対応モデルを接続する。	27
再生中に雑音が入る。	D.AUDIO IN端子に機器を接続して再生するのと同時に、USBケーブルを接続して充電している。	USBケーブルを外す。	14

●**上記の処置をしても正しく動作しないときは…**
本機はマイコンの働きで多くの動作を行っております。万一、雷や静電気等による動作の異常が発生したときやボタン類を押してもうまく動作しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、しばらく待ってからつなぎ直してください。そのあと、時計を合わせ直してください。

●本機の故障または不測の事態により、録音・再生およびCD/MDの演奏などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

保証とアフターサービス 必ずお読みください

保証について

● 保証書

この製品には、保証書を添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 保証期間

お買上げの日より1年です。

電池や一部の一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 修理に関するご相談・ご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。お問い合わせ先は「ケンウッド全国サービス網」をご覧ください。

● 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後８年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品を維持するために必要な部品です。

● シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号がつけられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器（基本システム）すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。（『ケンウッド全国サービス網』をご参照ください。）

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

● 保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご相談ください。修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

● 出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- ● 製品名
- ● 製造番号（Serial No.）
- ● お買い上げ年月日
- ● 故障の症状（できるだけ具体的に）
- ● ご住所（ご近所の目印等も併せてお知らせください。）
- ● お名前、電話番号、訪問ご希望日

● 修理料金の仕組み

有料修理の場合は、次の料金をいただきます。

- ● 技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。
  技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- ● 部品代：修理に使用した部品代です。
  その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。
- ● 出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- ● 送料：郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

ケンウッド全国サービス網

使いかたや製品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートサポートセンターをご利用ください。

修理などアフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービスセンターにお申しつけください。

北海道			
札幌サービスセンター	〶 007-0834	札幌市東区北34条東14丁目1-23	☎ (011) 743-7740

東北			
仙台サービスセンター	〶 984-0011	仙台市若林区六丁の目西町8-1（斎喜センタービル）	☎ (022) 284-1171

関東・信越			
さいたまサービスセンター	〶 330-0801	さいたま市大宮区土手町1-2 (JA共済埼玉ビル1F)	☎ (048) 647-6818
千葉サービスセンター	〶 277-0081	柏市富里1-2-1	☎ (04) 7163-1441
横浜サービスセンター	〶 226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎ (045) 939-6242
新潟サービスセンター	〶 950-0923	新潟市姥ヶ山1-5-37	☎ (025) 287-7736
目黒サービスセンター	〶 153-0042	目黒区青葉台3-17-9	
(修理持込専用窓口)	電話でのお問い合わせは、カスタマサポートセンター（裏表紙をご覧ください）にて承ります。		

中部・甲州			
名古屋サービスセンター	〶 462-0861	名古屋市北区辻本通1-11	☎ (052) 917-2550
静岡サービスセンター	〶 420-0816	静岡市葵区沓谷5-61-1	☎ (054) 262-8700
金沢サービスセンター	〶 920-0036	金沢市元菊町21-87	☎ (076) 265-5045

近畿・四国			
大阪サービスセンター	〶 532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22	☎ (06) 6394-8075
高松サービスセンター	〶 760-0068	高松市松島町3-1	☎ (087) 835-2413

中国			
広島サービスセンター	〶 731-0137	広島市安佐南区山本1-8-23	☎ (082) 832-2210

九州			
福岡サービスセンター	〶 815-0035	福岡市南区向野2-8-18	☎ (092) 551-9755
鹿児島サービスセンター	〶 890-0063	鹿児島市鴨池2-15-10 (パレス鴨池1F)	☎ (099) 251-6347
沖縄サービスセンター	〶 901-2101	浦添市西原4-36-17（（株）物琉2F）	☎ (098) 874-9010

● サービスセンターの営業時間のご案内

受付時間 10:00〜18:00（土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）
（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。）

● カスタマーサポートセンターのご案内

ナビダイヤル: 0570-010-114（一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です）
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-933-5133
FAX: 045-933-5553
住所: 〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2
受付時間: 月曜〜金曜　9:30〜18:00
土曜　9:30〜12:00、13:00〜17:30
（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

主な仕様

本体部（RXD-SZ3MD）

[アンプ部]

実用最大出力……………20 W + 20 W（JEITA 4 Ω）
EX.BASS …………………+10.0 dB (60 Hz、Vol. 20)
入力端子（感度／インピーダンス）
LINE (D. AUDIO)
………… 500 mV / 47 kΩ (入力レベルHigh時)
…………… 125 mV / 47 kΩ (入力レベルLow時)
出力端子（レベル／インピーダンス）
REC OUT ……………………………… 0.9 V / 10k Ω

[CDプレーヤー部]

読み取り方式…………………………非接触光学式読み取り
（半導体レーザー）
D/Aコンバーター ……………………………………1 ビット
オーバーサンプリング………………… 8 fs (352.8 kHz)
周波数特性 (JEITA) ………………… 20 Hz ～ 20 kHz

[MDレコーダー部]

読み取り方式…………………………非接触光学式読み取り
（半導体レーザー）
記録方式………………………磁界変調オーバーライト方式
音声圧縮方式……………………………ATRAC/ATRAC 3
D/Aコンバーター ……………………………… 20 ビット
オーバーサンプリング………………… 8 fs (352.8 kHz)

[カセットデッキ部]

トラック方式………… 4トラック 2チャンネル ステレオ
読み取り方式……………交流バイアス（周波数：70 kHz)
ヘッド
録音/再生用 …………………………………………… 1
消去用…………………………………………………… 1
ワウ&フラッター…………………… 0.08 % (W.R.M.S.)
早巻き時間……………………………… 約100 秒 (C-60)

[チューナー部]

FMチューナー部
受信周波数範囲…………………… 76 MHz ～ 90 MHz
アンテナインピーダンス…………………… 75 Ω不平衡
AMチューナー部
受信周波数範囲……………… 531 kHz ～ 1,629 kHz

[電源部・その他]

電源電圧・電源周波数……… AC 100 V、50 Hz/60 Hz
定格消費電力（電気用品安全法に基づく表示）……… 55 W
待機時消費電力……………………………………1.0 W以下
最大外形寸法…………………………………… 幅 165 mm
高さ 207 mm
奥行 327 mm
質量（重量）…………………………………4.8 kg(正味)

スピーカー部（LS-SZ3）

エンクロージャー……………………………… バスレフ方式
スピーカー構成
ウーファー…………………………… 100 mm コーン型
ツイーター………………………………40 mm コーン型
インピーダンス……………………………………………4 Ω
最大入力…………………………………………………… 20 W
防磁対応…………………………………………………… 無し
最大外形寸法（スタンド含む）……………… 幅 134 mm
高さ 206 mm
奥行 215 mm
質量（重量）…………………………… 1.9 kg/1本 (正味)

本製品は「JIS C61000-3-2適合品」です。

- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です

索 引

お電話による使いかた・商品に関するご相談

カスタマーサポートセンター

受付時間　月曜日～金曜日　**9:30 ～ 18:00**
土曜日　**9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30**
※日曜、祝日及び当社休日を除く

0570-010-114

※一般電話･公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

- 携帯電話、PHS、IP 電話からは **045-933-5133**
- FAX　**045-933-5553**

修理などアフターサービスについて

お買い上げの販売店か、「**ケンウッド全国サービス網**」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒192-8525　東京都八王子市石川町 2967-3